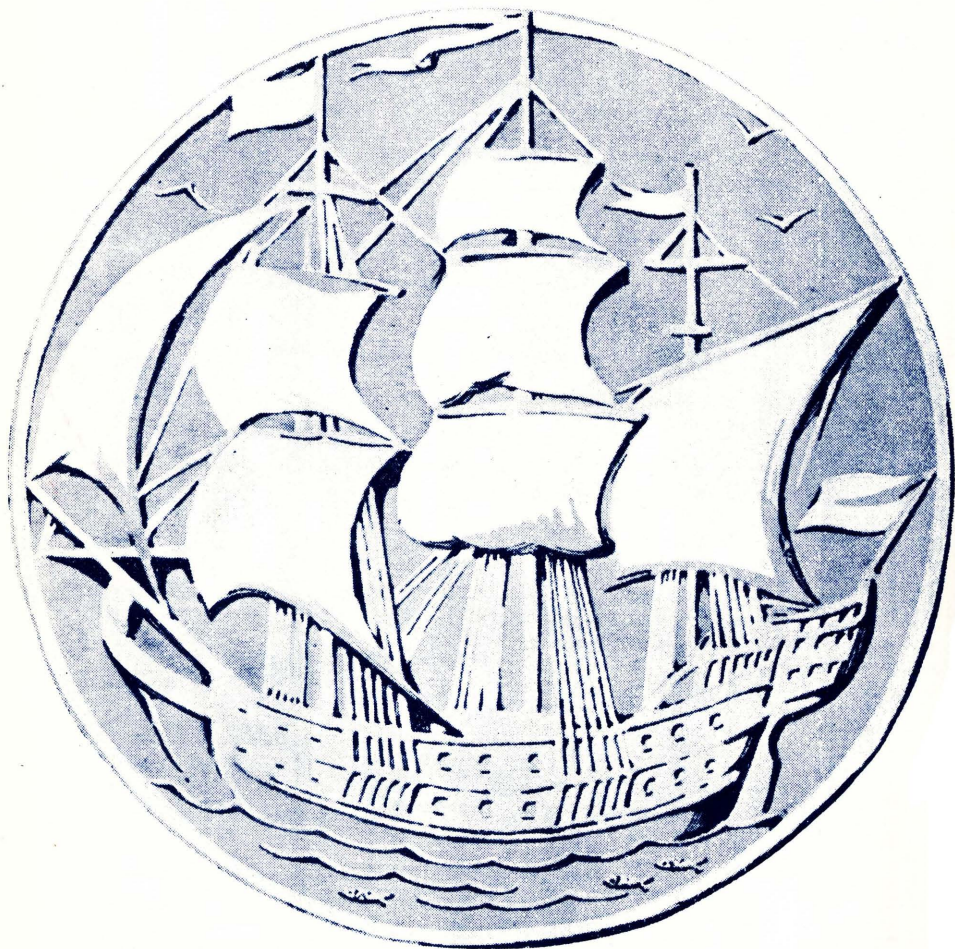


# 幼 兒 の 教 育

第 三 十 六 卷 二 月 號 第 二 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內  
日 本 幼 稚 園 協 會



# 生徒募集

本科生 四十名

研究科生 若干名

願書受付 昭和十一年十二月一日ヨリ  
昭和十一年三月二十日迄

規則書は貳錢切手封入の上申込まれよ。

玉成保姆養成所

所長 ソフアヤアラベラアルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目二三三  
省線西荻窪下車直南約五丁

創立以來二十一年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、  
附近に森あり、野あり、川ありて四時自  
然の恩恵を受け、本校の特色とする自然  
觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用  
の手工等材料豊富なり。

# 保姆生徒募集

一、募集人員 五十名

一、出願期限 二月一日ヨリ受付

規則及入學案内ハ二錢切手ヲ同封シテ請求セラル、カ又ハ山手線

目白驛前目白幼稚園ニ就キ承合セラレタシ

淀橋區下落合三丁目一、三八八

## 東京目白保姆學校

電話落合長崎 二五五九番

# 生徒募集

募集人員 百名

出願期限

自二月一日  
至三月末日

無試験檢定ノ特典アリ

規則書ハ二錢切手封入申込マレタシ

東京市杉並區高圓寺三丁目二九八聖心學園内  
西武電車及青バス妙法寺口下車(電話中野二四八四)

東京保母專修學校

校長 ジー・マイエ

# 生徒募集

一本 科 七十名

一研究 科 若干名

右 募 集 ス

出願期限 二月一日ヨリ三月廿五日迄

規則書入用ノ方ハ二錢切手封入申込マルベシ

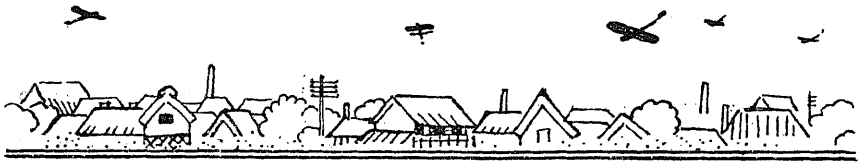
東京市品川区大井原町五二〇八

東京昭和保姆養成所

所長 土川 五郎

顧問兼講師 倉橋 惣三

授業時間  
自 午後一時  
至 午後五時



號 二 第 育 教 の 兒 幼 卷 六 十 三 第

— (次 目) —

口 繪	
卷 頭 (一 月)	倉 橋 惣 三 (一)
北 支 那 の 見 聞	堀 七 藏 (二)
ア メ リ カ の 就 學 前 幼 兒 の 教 育	多 田 鐵 雄 (三)
子 供 の 繪 (其 四)	菅 原 教 造 (四)
兒 童 心 理 學 文 獻 抄 (十 五)	牛 島 義 友 (五)
雛 祭 ゝ 御 馳 走	山 田 德 兵 衛 (六)
幼 兒 の 放 送	F · O (七)
「お も ち や 箱」	村 上 露 子 (八)
お ひ な 様	及 川 ふ み (九)
全 國 保 育 大 會 狀 況	(十)

# 童話童謠募集

日本幼稚園協會

昨年童話童謠の募集を致しました時は優秀の作品を多數御應募下され有難う存じました。本年も續いて同様御作品を募り度く、左記の通り御承知の上、多數御送稿下さいませ。

## 募集規定

- 一 應募作は幼兒童話、幼兒童謠であること、内容は任意なれ共成る可く春向の題材のこと、但し在來のもの改作はお受けしませぬ。必ず創作のこと(舊作にてもよろし)
  - 一 應募篇數任意
  - 一 原稿用紙にペン書のこと(挿繪、カット等入れるも可)尙、原稿は一切返却せず
  - 一 應募者は宿所氏名(誌上匿名隨意)、奉職園(校)名明記のこと
  - 一 宛名 日本幼稚園協會童話童謠研究部
  - 一 締切 昭和十一年三月十五日
  - 一 選 本協會童話童謠研究部委員
- 入選作若干は本誌に掲載の上帶留或はピンを賞品として贈呈致します

尙御不明の點は往復はがきにて本協會にお問合せ下さい





園稚幼屬附

まさなひおのしたわ

# 幼 兒 の 教 育

昭 和 十 一 年 二 月

## 二 月

寒い空が雪となつた。埋めて白く、まごを道まもわかち難い。校門から園舎まで、踏み分けてゆく遠野の朝を、難儀がるのはおまな達である。嬉々としてよろこび走つてゆくのはまごも達である。

まごには何んでもが楽しくないものはない。何ものにも、新らしい興味、勇ましい氣力を喚び起さずにはない。何まごに對しても、苦にしたり、しりごみしたりしない。

おまなが、寒さにふるへて冬籠る此の二月こそ、まごもまおまなまごの違ひを、しみぐみ思はせる月である。それにしても、まごものお蔭でこそ、二月も雪も、さえぐみよるこんでるまごであらう。若し世の中がおまなばかりだつたら、二月も雪も、これはたまらぬさいちけふるへて仕舞ふまごであらう。

# 北支那の見聞

東京女高師附屬小學校主事

堀 七 藏

## 一 はしがき

昭和十年十一月十七日から約一ヶ月間に亘つて北支那の視察をいたしました。外務省から在外指定學校の視察をなしその指導をなすことを委囑せられて、文部省から出張した譯であります。従つて普通の視察旅行と違つて、頗る多忙でありましたが私には頗る面白い視察でありました。けれども幼稚園保育事業に御關係の讀者各位に對し、直接御參考になるやうな事項は極めて少かつたのであります。強ひての御註文でありますから、北支那の見聞につき、成るべく保育事業に關係があり想なごきを、漫然と羅列することにいたしませう。それが何かの御參考になれば、この上もない幸であります。

## 二 在外指定學校

在外指定學校といふのは、名稱の示す如く、外國に居住する本邦人の子女を教育する學校であります。滿洲國にも、支那にもこの指定學校が相當あります。同じ滿洲國にあつても、滿鐵經營の小學校は在外指定學校ではありません。新京とかハルビンとか、承德とかまた赤峰といふところには、在外指定學校があります。それで私が視察いたしましたのは北支那にある在外指定學校であります。

今この北支那にある在外指定學校を表解いたします、次のやうであります。

學 校 名	學 級 數	生 徒 數	教 員 數	設 立 者
北平日本尋常小學校	九	二三〇	九	社團 北京居留民會
天津日本高等小學校	二三	一〇二四	三〇	財團 天津共益會
天津日本高等女學校	八	二〇七	二〇	財團 天津共益會
天津日本商業學校	三	一〇八	一六	財團 天津共益會
天津日本青年學校(夜學)	五	五七	一〇	財團 天津共益會
濟南高等小學校	九	三一〇	九	濟南居留民團
張店日本高等小學校	五	六六	五	張店日本人會
張店日本高等小學校青州分校	二	一三	二	青州日本人會
博山日本高等小學校	三	三一	二	博山居留民會
淄川日本高等小學校	五	六〇	五	魯大鑛業公司
坊子日本高等小學校	三	二六	四	坊子日本人會
青島第一日本高等小學校	二八	一、三二六	三四	青島居留民團
青島第二日本尋常小學校	一〇	三六四	一二	青島居留民團
四方日本高等小學校	七	二三四	八	青島居留民團
滄口日本高等小學校	七	二〇二	八	青島居留民團

青島日本中學校	一五	四一五	三三	青島居留民團
青島日本高等女學校	一二	四六三	二八	青島居留民團
青島日本青年學校(夜學)	三	一三六	一三	青島居留民團
青島學院商業學校	一一	四五二	三〇	財人團青島學院
青島學院實業學校(夜學)	五	一七一	二〇	財人團青島學院
合 計	一七	五八九三	二九八	

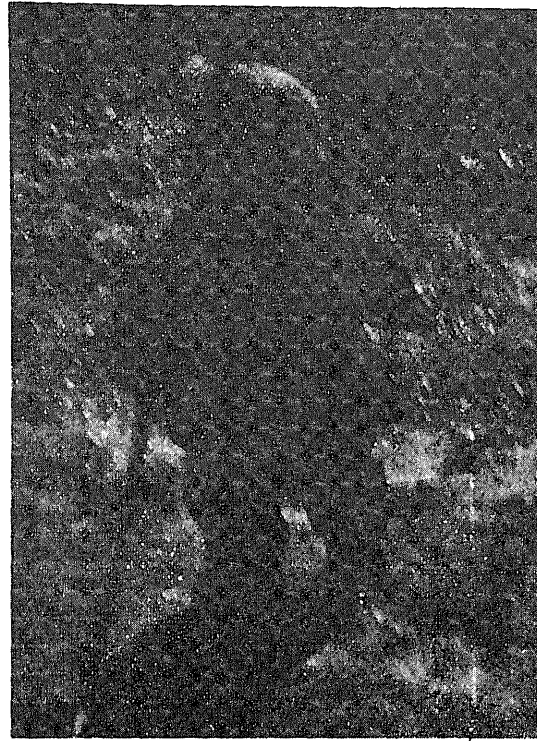
この外に、北支那には山海關日本小學校、芝罘日本尋常高等小學校等があります。そして私が視察したのは是等の在外指定學校中、博山、淄川、坊子を除いた十六校であります。

北支那に居住して働いてゐる本邦人が、その子女に義務教育を受けさせ、更に中等教育を受けさせることは頗る熱望するところであります。また我が國家にしても、一人二人の學齡兒童でも、必ず義務教育を施す必要がありますので、特に補助をなして、是等在外指定學校を經營させてゐるのであります。

### 三 在外幼稚園

かく在外指定學校では學齡兒童が二三人でも我が國家で補助金を出して、小學校教育を施してゐます。しかし幼稚園保育は義務ではありませんから、在外指定學校にはないのであります。只天津では天津公益會に於て天津幼稚園を經營してゐますし、また鮮人の幼稚園もあります。また濟南尋常高等小學校にも、一組の幼稚園があります。青島では宗教團體で經營してゐる幼稚園がありますけれども、青島居留民團で經營してゐる幼稚園はありません。

北支那に働いてゐる本邦人の家庭にまつて、幼稚園が頗る必要であります。殆ど凡て支那人を使用して一切の家庭内の用事をさせてゐるのでありますから、



(支那の子ども)

遊ぶことが出来ないであります。さりて支那人の手では頗る悪に風を不知不識の中に感染するといつた有様にあります。それで北平でも青島でも、子供達の立場からいへば、民團で幼稚園を設立する必要が痛切であります。

幼稚園は幼児を保育してその心身を健全に發達させるものでありますから在外指定學校が必要であると同様に幼稚園も必要であります。また北支那の如き所では、善良なる性情を涵養し、家庭教育を補ふ上に於て、幼稚園が頗る大切である

北支那で働いてゐる居留民の家庭では、殆ど一考へるに、母親は子女の養育や保育に全力を注ぎ得る筈であります。しかし事實は中々さうは行かないやうで、支那人のボーイや支那人のアマ(婦人)に子女の養育から保育を托するものが頗る多いのであります。子供は子供同志遊ぶことによつて本當の幼児の生活が出来ることは勿論であります。しかし天津に於ける日本租界の如く、日本人の家庭が隣合せになつてゐるころでは、日本人の子供同志遊ぶことも出来ませう。しかし左もない北平でも、濟南でも、また青島でも、日本人の子供同志が本當に

ご思はれます。

また鮮人の幼稚園では國語、即ち日本語を幼少な時代から教育することが必要であります。朝鮮では國語を常用しない鮮人の學童を教育するのに、普通學校が設立せられてゐます。しかし北支那に於ける在外指定學校では、内地人ニ鮮人ニを區別して小學校を經營することが困難であります。爲に在外指定學校に於て、内地人の子弟も鮮人の子弟も同一學級、同一學校で教育せねばなりません。その時に國語の出來ない鮮人を混じてゐるに、義務教育を施すに頗る支障を生ずるのであります。従つて鮮人幼稚園では、特に國語即ち日本語を教育することが肝要であります。

#### 四 支那の小學校

支那では小學校の教育が發達してゐません。金持や要人の子女には小學校教育も行はれ、中等教育も行はれてゐますが、それは僅少な特別な範圍に限られたことで、一般勞働者や農民の子女には殆ど教育が行はれてゐません。統計がないから明白なことは分らないが、全國民の學童の二割も小學校教育を受けないことであらう。

その僅少な小學校教育も頗る不完全なものであることは二三の支那人小學校を參觀しても分ります。尤も北平師範大學の附屬小學校や附屬中學校は相當進歩したものであります。米國に於けるダルトンプランの教育を模範とし、ポークアウトを眞似した新教育をなしてゐるのであるから、日本小學校に比べても決して遜色がないのであります。しかしこんな立派な學校は一般北平市内の小學校には殆どないのでありますから、北支那に於ける小學校教育の状態は想像するに難くはありません。一般に支那では習書の教育が進歩してゐるので、所謂、教育ある支那人は頗る能書家が多いのであります。支那は昔からの文字の國であります。只近世科學の教育は頗る缺けてゐるのであります。科學方面の研究は大學な

こゝでは相當進歩して居りますが、我が國の明治二十年頃の教育を思へば、先づ間違のないところでありませう。

## 五 支那服

北支那は我が東京なごに比べるに、緯度も高く、氣候は大陸的で、十一月頃になるに頗る寒くなります。夏は夏で頗る暑いのでありますが、冬は相當に寒く、一年中では寒暖の差が著しいのであります。その北支那の生活をなすに支那服は頗る適當してゐるのであります。和服は前でかき合えますから、お座敷に坐してゐる日本人の生活には、腹部を冷却するこゝがないのであります。しかし歐羅巴の如く、冬は左程寒くなく、夏は暑くない土地では洋服で腰掛けてゐても、腹部が左程冷えるこゝがありません。けれども北支那の如き寒地では、洋服は頗る不適當であります。洋服では腹部を冷却するこゝが頗る著しいので、北支那に居住する本邦人は、洋服を着けてゐる爲めに腹部の冷却から消化器病にかゝるものが頗る多いやうであります。食物が支那料理であるに、日本人には油濃く不消化であるところに、洋服で腹部が冷却するので、消化器病にかゝるものが多いのでありませう。勿論日本人はお刺身を嗜好する爲め、赤痢をかチフスにかゝるこゝも、頗る多いのであります。天津なごは赤痢やチフスが日本人の專賣であるやうでありますのは、頗る寒心すべき事實であります。

こゝろが支那服は、腹背が暖く出来、兩脇に合せ目がありますから、腹部の冷えるこゝがありません。子供なごでも下着で腹部を十分に包み、更に上着(袍)で腹部を十分被包してゐますから、腹部の冷却するこゝがありません。しかも支那料理で、日常一般に食するものは凡て煮焼したものであるから、悪い水を使用してゐるにもかゝはらず、非常に不潔な野蠻的な生活をしてゐるにもかゝはらず、傳染病が少いこゝは、支那人の衣食住がその自然に叶つたものであるからであり



ませう。この點からして、北支那に於ける本邦人子弟の養育法は、現在の如く内地の儘では不適當でありませう。もつて北支那の自然的環境に適應するやうに改善せねばなりません。

## 六 鼻汁

北支那では寒氣が頗る強いので、鼻汁が多く出ます。それで支那人は、大人から勞働者に至るまで、悉く手鼻をかむのが常癖であります。北支那の市政府などの玄關の柱でも壁でも、手鼻をかんだまき指についたのをなすりつけてあるのが、頗る不潔になつてゐます。支那の中學校長が吾等を案内してゐながら、手鼻をプックミ平氣にかみます。人力車夫が平氣に手鼻をかみつゝ行くのミ一向に差違がありません。従つて支那人の子供には、鼻がつまつて口で呼吸してゐるものが殆どありません。しかし北支那に於ける本邦人の子供には、鼻加答兒のものが多く、また鼻孔が詰つて、口で呼吸してゐるやうなものが多いうであります。そして北支那に於て本邦人は、比較的多く呼吸器病、殊に肺結核に罹るやうであります。鼻汁や痰唾を平氣で、床上にも道路にもまき散らされ、それに空氣が乾燥してゐるので、是等から黴菌が飛散するところが多いからでありませう。勿論北支那は黄土の大平原であり、それが烈風に吹き上げられて眞に黃塵萬丈であります。それで北支那では、汽車中でも料理店等でも、一時間おき位に、熱湯で絞つたタオルで、手や顔を拭ふのであります。かゝる北支那に居住するには日本人の子女は餘程その生活法を自然に適應するやうに工夫せねばなりません。この點に於て北支那に於ける幼児の保育は十分研究する必要があると思はれます。

## 七 子供の死と墓

支那では子供が死んだときは、「親に先つて死ぬものは親不孝」といふ譯で、碌な御葬式もせず、幼児の死體はその儘、野原に打棄て、禽獸の餌に供するのが習慣であります。しかしお金持が要人なきが死亡するに、その葬式の盛大なことは驚くべきものであります。お葬式の行列が一里以上に及ぶものが珍らしくないし、わざ／＼泣く人を招いてその葬式の列に加へて泣かしめることも支那の一特色であります。また年寄が死んだときにはバン／＼盛に花火を上げたり、太鼓、鐘、笛なきを鳴して賑かに騒ぐのであります。凡てに面子(メンツ)を奪ふ支那では結婚式の行列でもお葬式の行列でも頗る見事なものであります。けれども幼児の死なきは殆ど問題ではありません。

北支那を汽車で旅行するに到るに土饅頭があります。これが死人を埋葬した墓であります。支那は廣い／＼野原であるから方角でも位置でも凡てトふのであります。それでお墓もトつてその方角を距離を定めるのであります。從つて他人の耕作してゐる土地であらうに、鐵道であらうに、おかまひがありません。ここにでもトつた場所に死人を葬つて墓をなすのでありますから、到るに墓があります。曲阜なきに行く途中には樹木で取圍まれた立派な墓もあります。天津から北平なきに行く途中には、單に土を盛上げただけの墓が頗る多いのであります。貧富によつて墓に多少大小があるやうであります。凡て土葬であります。

## 八 日本語と意味の異つた支那語

支那語で日本語と同形であつて、意味の異なつた言葉があります。支那では汽車を火車と稱し、自動車を汽車といつてゐます。電車は日本も支那も同じであります。火車小心「いへば汽車に注意せよ」といふことであり、「汽車慢走」になれば、「自動車は徐行せよ」といふ意味であります。

花子こいへば、日本でお嬢さんか、奥様の名前でありませんが、支那語では乞食このこころであります。支那語で菓子こ書けば、果物のこころで、吾々が菓子こいふものこは意味が異なります。

また當舖こ書けば、日本では當舖の意に使はれるが、支那では質屋こいふ意味であり、勉強するこいへば、日本語では良い言葉であるが、支那語では無理こやりにこいふ意味になります。

こんな工合に同じ語であるが、意味の著しく異なるものが少くない想であります。それで茲には只一例を上げたくで一々列挙する必要もありません。

### 九 棄 兒

青島では棄兒の場所が青島市政府で設けてあります。それはもご特志婦人によつて始められたものであると申します。奉天の城内にも棄兒の場所があるに申しますが、私は先年滿洲に行つたとき、見る機會が得られませんでしたので今回特に青島の棄兒所を見學いたしました。

一體棄兒をするには、いろいろの事情がありませう。不義の兒を養育するのに困つて棄兒をするものもありませうが、多くは貧困なために産兒を養育することが出来ないものであります。

英國でも佛國でも、所謂孤兒院こいふものが頗る發達してゐます。是等は我が國の孤兒院こは大に違つてゐます。扶養するものがない眞の孤兒でなく、父たる男が不明白で産んだ嬰兒を養育することが出来ない母親がその産兒を孤兒院に托するのが多いのであります。即ち眞の孤兒でなく、少くも母親が明白であるが、その産兒が手足纏こなつて自活することが出来ない場合に、市役所の籠の中にその産兒を置いて歸るこいつたものが多いのであります。従つてこれも棄兒で、

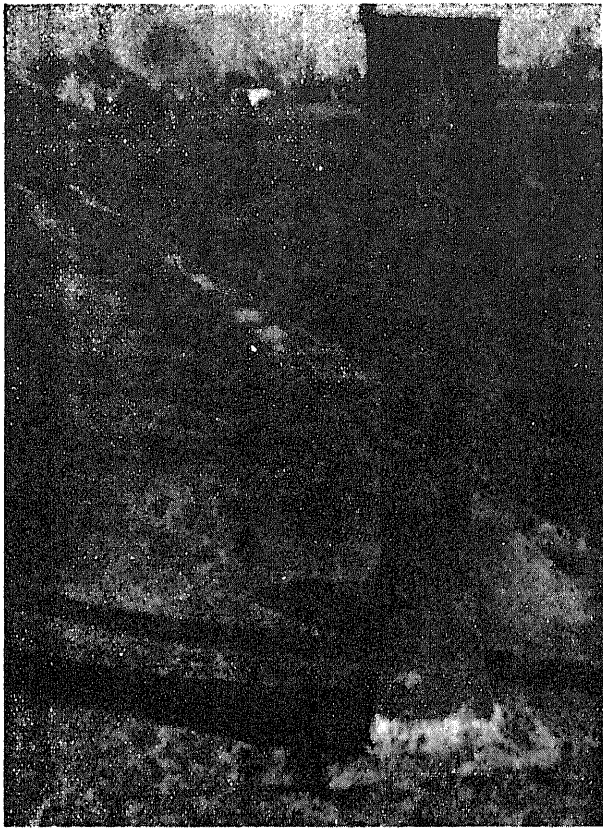
その棄兒を孤兒院で養育するのが、バリでもロンドンでも、亦ベルリン、ハンブルグなどでも多いのであります。

支那の棄兒も亦同様であります。育てるここの出来ない母親が棄兒をするものが多いのでありますから、市政府でそれを集めて養育し、相當に成長するに、また賣拂ふの理想です。兎に角青島の棄兒所に行くに、街路に面した壁がある室に案内せられました。その室の壁には五十種位に三十種位な矩形の窓があります。この窓から室外の棚の上に棄兒箱が出してあります。この棄兒の箱を室内に引入れて見るに、一寸蜜柑箱位で、その中に嬰兒をねかせるこまが出来るやうに出来てゐます。若しこの箱の中に棄兒するに、嬰兒の重さで箱の底に裝置してある。押釦を押すので、室内に棄兒のあるこまが直に分ります。それでその棄兒箱を引入れて棄兒を受取り、またその箱を室外に押出して置く仕掛になつてゐます。その兩側壁に沿ふに寢臺が二臺あります。そしてこの室には二人の人が必ず宿直するのであります。日中棄兒をする人が稀で、朝早くか、夜遅くかに棄兒が行はれるのであります。それで棄兒があるに、寢臺に寢てゐる人は呼鈴をきゝつけて直にその棄兒を受取ります。そしてまた棄兒箱を外に出します。かくて次から次で棄兒があつても、直に受取るこまが出来ます。それでこの室を接嬰室と名づけてあります。この棄兒はこの接嬰室で受取つてそれ／＼養育するのであります。かくて嬰兒から十歳頃になるまで養育するのがこの棄兒所であります。

## 一〇 人身の賣買

支那では人身賣買が普通に行はれるのであります。藝者などは十二三のこま、買はれたものが多いといはれてゐます。年三つた女が田舎に行つて、十二三の容姿のよさ相な娘を四五十弗で買つて來て、それを育て、藝者に仕上げその收入によつて生活するのが普通であるといふこまです。それで一寸滑稽な話があります。私は十二月一日に山東省の兗州から曲

阜にある孔子廟に行くとき、兗州で人力車に乗ったのであります。兗州より曲阜城まで二十七里あるので、少くも三時聞かゝるのであります。案内役の黒川氏(濟南日本小學校の先生)と私とで雇つた人力車が二臺。私は肥満して七十五斤も



(支那の道路)

ありますから、若くて強い車夫の人力車に乗つて曲阜に着いたのであります。一體支那の道路は頗る悪いので、日本の五里以上のところを走るのではありませんから大變であります。曲阜城について大成殿で孔子像なごに參拜し、聖林で孔子の墓に詣で、さて歸りまいふので、かの兗州から雇つて來た若くて強い車夫の人力車に乗らうとしたのであります。するに私の車夫(甲)が私に黒川氏の車夫(乙)の人力車に乗れまいふのです。それで

私と黒川氏は車夫と人力車とを交換して歸路を走り出したのであります。それで車上から黒川氏が「さうして乗る人を交換したのか」を甲の車夫に尋ねて見たのであります。

するに、あの人（私を指しつゝ）は大變重いです。僕（甲）は饅頭を二つしか晝食にたべない。あの男（乙）は饅頭を四つたべてゐるから」さういふ返事であります。饅頭を二つしかたべないから重い人では困るさういふ譯なのであります。

更に、「さうして君は饅頭を二つしかたべないか」尋ねるに、その返事が振つてゐます。「あの男（乙）は妻がないから饅頭を四つたべたが、私（甲）には妻があるから二つしか饅頭をたべないのです」さういふこゝであります。支那婦人は車夫の妻でも働かないのですから、夫は妻を養はねばならぬので、二つの饅頭を節約する譯であります。

「それならば君には妻が幾人あるか」に、さういふ二人の妻ある「さういふ返事であります。」「その妻は幾歳か」尋ねるに、「十八歳と十六歳」さういふ答であります。「するに君は幾歳か」尋ねるに、三十八歳さういふこゝであります。乙の夫に向つて「さうして君は妻ないか」尋ねるに、「お金がないから買へないのだ」さういふ返事あります。甲はお金があるので、十八と十六の二人の女を妻に買ったのであるが、乙は妻を買ふお金がないさういふ譯であります。學校の小使などでも五六十圓から二百圓位までの女を買つて妻にするのだ想であります。

金持が第一夫人、第二夫人から第五夫人、第六夫人と、多くの妻を持つてゐるも當然であります。青島で張宗昌の第五夫人が今は俳優になつて人氣を呼んでゐる支那芝居を見たのであります。

## 一一 大家族

支那には大家族が多い。滿洲吉林省には、四代同居の一家族で四十七人も居るのがあるさういふこゝであります。第一夫人は勿論、第二夫人も第三夫人も凡て同居してゐるのが、支那の風習であります。兄弟の家族は勿論、第一夫人の子供も第二夫人の子供も同居してゐる譯であります。その點からしても大家族になります。かゝる大家族でその家内が睦しく

生活するには、その間に戸主の權威が頗る強くなければなりません。戸主の支配の下に、或は書記役、或は勘定役、或は農耕、或は運搬、或は炊事、應接、衣服の調達等々、それ々々分業的に皆各其分に應じて役割を定められてゐるのであります。若し家族でその分擔してゐる役目を怠つたり、罪を犯したりする者があるに、戸主はこれを懲しめします。また家族内で争でも起れば、戸主は其の兩方を詞堂さいつて祖先を祭つた堂の中に呼寄せて裁判をなし、よくない方に罰を課するのだ想であります。

支那でも、自分の兒の可愛いのが人情であります。その人情を偽つて弟の兒を可愛がるやうにせねば大家族を統御するここが出来ないのであります。それで偽は人が爲すに書く位で、支那人の偽は誰でも人の爲すことでもあります。第一夫人や第三夫人が夫の愛を得るが爲めに、その兒を利用するので、幼少の頃から偽をなすことを母親から教育せられるので、支那人は偽をいふのが當然であるともいはれます。

昔唐の高宗が泰山にお参りになる時大家族で評判の高い張公藝の家にお立寄りになりました。この張公藝の家は今の山東省兗州府にあつて九代の間の身内が皆一緒にゐたといふから、頗る大家族であつたものでせう。その大家族が仲のよいところを高宗が面のあたり御覽になり、お褒めになり、さてさうしてそんなに睦しくすることが出来るかとお尋ねになつたのであります。するに張公藝は筆紙を取寄せて、忍の字を百も書いて高宗に差出しました。天子がこれを御覽になつて、「成程凡ての者が凡ての事に忍耐でありさへすれば一家ごころか、一國でもよく治まることであらう」と、深くお感じになつて絹を御褒美に賜つたといふ話があります。

# アメリカの就學前幼兒の教育

多田鐵雄

## 一 一歳から五歳に至る保育學校

若し現在に於て理論的に認められ廣範圍に互つて實施されてゐる諸施設を云ふ點からすれば、原則的には五歳乃至六歳の兒童に對して規定されてゐる處の幼稚園をば學校系統、就中公的學校系統の最低段階を考へなければならぬ。然しそれ以下の幼兒をも亦公的學校系統の中へ組入れやうとする強い潮流が生じて來てゐる。即ち既に多くの大學の教育學部は此の幼兒時代の教育に特別な注意を拂ふに至り、而もそれは單に理論的にのみならず、實際的にも行はれてゐる。教育問題に關して特に活動的なアイオワ州の州大學には數年前よりボールドウィン教授の指導下に兒童福祉研究所 *Forschungsstelle für Kinderwohlfahrt* が設けられてゐる。此の研究所は兒童觀察所に併設されて居り、殆んど終日一歳から五歳までの幼兒が約二十人程保護されてゐる。茲に於ける學的活動は一方に於ては保育學校 *Nursery school* に對する教案を旨し、他方に於ては兒童心理學的分野であるが、特に後者に關しては、この幼兒時代に對してなされるべき多くのものが殘されてゐる。他の場所に於ても、或ひは大學を併設されて、或ひは個人の試みとして、又は現存幼稚園の前階層 *Vorkaufmann* として、同様な施設が見受けられる。ニューハークセン大學に併設されてゐるエル心理病院臨牀講座及びニューヨークに在る同系の實驗所も亦同様の目的を有するものである。

かくの如く、未だ幼少な兒童をその家庭教育から取出してしまふ憂慮を殆んど人々が主張しないことはアメリカ



式考へ方さして特徴あることである。即ち從來かゝる保育學校が設けられなかつた理由は、かゝる憂慮からではなく、幼年時代の種々の影響が教育の成果に對して必ずしも多くを意味しないこと云ふ考へ方からしてのみ認められる。この見解は現今に於ては勿論誤れるものさされて居り、人格の全體的發展に對するこの時期の意義は、非常に強く高調され、屢々過度に強く高調されてゐる。非常に幼ない兒童に對する兩親の家庭での教育價值は一般に極く低く評價され、又人々は氣輕に之を見縊びらんとしてゐる。その理由は一方に於ては教育に關する限り大都市に於ける家族は、著るしく分解しつゝある故であるが、又他方に於ては教育的活動の凡ての種類に對して、又幼兒の成果多き交はりに對しても、職業的専門的素養を非常に重く評價してゐる故でもある。従つて現今に於ける動向の最重要な標的は保育學校施設に對する公的手段の許可、同時に適當なる保姆養成機關の創設である。之を最も密接な關係に立つパーティ・スミスヒル女史は雜誌「國民教育協會誌 National Education Association」に於て次のやうに述べてゐる。

「身體的精神的社會的の健全性の基礎が廣範圍に互つて是等幼年時代の中に横はつてゐること云ふことが眞實なりませば、この事から次のことが云はれる、即ち就學義務前の者の保護及び教養を任されてゐる人々ににりて最上の専門的養成教育が保證されなければならない。これに對して吾人は幼年以上の兒童に對する教員を養成する處の吾々の師範學校及び師範大學の教科課程をそのまゝ盲目的に踏襲することは出来ない。吾人は二歳から七歳までの幼兒の特殊な諸要求に適切なる新らしき師範學校教案 Seminarplan の上に立ちて女教員を養成する必要がある。」

かゝる保育學校に於ける作業 Arbeit を觀察するに——それは道理あることであるが——幼稚園のそれと甚だ似通つた點を示してゐる。この兩者間の差異は教育の内容や形式の差よりも寧ろ力の入れ處の差である。保育學校に於ては身體的及び健康的保護が特に強く高調される。短期間毎に(例へば毎月)全幼兒に甚だ根本的且つ醫學的な診斷が施される。學

校の初まる前に幼児は凡て訓練された保姆 *Pfleserin* によりて根本的に検査される。而して榮養、睡眠、休息、活動及び戶外遊戯は周到に目論まれた案に従つて交互に行はれる。一般に現今に於ては心理學的病理學的臨牀講座が、幼児の精神生活、內的生活及び社會生活を連續的に觀察する處の此の保育學校に併設されてゐる。女教員又は保姆——勿論同一人であるが——は細心の注意を拂つて報告をなすが、この報告は醫師、心理學者、病理學者、齒科醫及び夫々の特殊分野(榮養、行狀等)に對する専門家の報告並びに兩親の通知と相俟つて、幼児に關しての全く完備せる表を示すものである。兩親の協力は非常に徹底的に要請される。母親は毎日睡眠状態の良否及び時間、食慾、消化、心的生活の故障及び戶外に於ける滞在時間等を報告しなければならぬ。このことは保育學校の價值標準及び教育目的は又家庭にも反映すべきであるが故に當然のこゝである。現今に於てはこの保育學校の觀念はたゞ未だ必ずしも活潑ではないにしても少くも大都市に於ては相當の地盤を獲得してゐるかの様に思はれる。或る官報によれば、この種の保育學校は約二十五校存してゐる。但し以前から既に存し、本質的には唯保護及び世話をする場所にすぎぬ多くの託兒所も、又現今に於ては保育學校と呼ばれてゐるが、この呼び方は必ずしも適當ではない。

## 二 幼稚園

合衆國に於ける幼稚園は獨乙の影響下に發生して、アメリカのものになつた。幼稚園は四十八州を通じて移入された——プロシヤに於て其れが禁ぜられたが故に四十八州がそれを特に珍重したか否か、又は前者が結果であり、後者が原因であつたか否か、吾人は斷言するこゝは出來ぬ。幼稚園がその獨乙名をすつて保持してゐる限り、それは未だ現今に於てもその起源を否認しない譯である。即ちアメリカに於てはフレールベルに依つて刻印されたこの獨乙名以外の他の名稱は殆んどない。

最初の幼稚園は千八百五十年頃個人の施設として、初めには、最も獨乙血統の濃厚なヴィスコンシン州に、而して間もなく、ニューイングランドに、就中ボストンに創設された。既に五十年以上も前に(千八百七十三年)には或る大都市が幼稚園をその公的學校系統の一要素となし、次に又、獨乙系の住民の甚だ多い都市セントルイスが之を試みた。幼稚園はその後大いに發達し、現今に於ては全國至る處に、殆んど各都市に見受けらるゝに至つた。幼稚園の出席は自由であるが、それに出席する幼児の數は常に増加を示し、最近數年間に於ては特に増加が著るしい。カルフォルニアに於ては問題となる全幼児の約四十三パーセントが幼稚園に出席してゐる。英語を使はない移住者數の特に多い處、從つて殊に東部、北東部、西部海岸地方及び一般に急速に發展した大都市、例へばシカゴ、デトロイト、ロサンゼルス等に於ての幼稚園が特によく發達してゐるに云ふことは、特に意味深いことである。こゝでは幼稚園は異國語の幼児に英語を少くとも小學校最下級に於て充分に共同勉強が出来る範圍にまで教へ上げるに云ふ重大な使命を有してゐる。幼稚園では自ら小學校よりも遙かに英語をよく教へ得る。その理由は、幼稚園は小學校の如く教材的目標によりて煩はされぬし、又小學校よりも比較的により自由な、より多くの遊戯的な交遊が園兒相互間に許される故である。外國人を兩親に持つ園兒のためには實際に幼稚園は特に力を盡してゐる。然しそれは土着の永く安住せる住民、就中富裕の住民の幼兒が恰も幼稚園に入らないかの如くに思ふことは誤りである。幼稚園は事實凡ての者に對する學校であり、國民的社會的統一學校の一つであり、而もその本質的なものである。

幼稚園は一般にかゝるものとして嚴正な且つ法律的な根柢の上に立つてゐる。幼稚園の維持は三十四州に於て法律的に規定されてゐる。これらの州法律の大部分は、任意法令 *Kann-Vorschriften* のみを含むに過ぎない。例へばニュージャージーに於ては該法律を次の如く規定してゐる。

「各學區の學務局は幼稚園を小學校と聯關してか、又は之は獨立に、當局の監督の下に之を設立することを得」  
ミ。この學區に居住する四歳より七歳までの幼兒は凡て入園を許される。同時に五歳以下の幼兒を小學校へ入れることはこの學區に於ては禁ぜられてゐる。公立幼稚園の保姆は凡て州資格證明書を所有してゐなければならぬ。又保姆養成に關しては高等學校卒業後、二ヶ年の教科課程の代りに、小學校女教員の場合の如く一般に二ヶ年半及び三ヶ年の課程が置かれてゐる。又多くの場所に於ては四ヶ年の課程も用意されてゐる。而して之を卒業するを教育學士、Bachelor of Educationの稱號が與へられる。然し實際にはこの方の課程は幼稚園視學及び幼稚園專任顧問の地位を獲んミする婦人にミりてのみ問題ミなるに過ぎぬ。幼稚園の費用は小學校のそれミ同一の前提ミ條件の下に一般學校資金により保證されてゐる。

又他の或る州には幼稚園の施設を希望する両親の數が或る一定數に達したる場合に對して義務法令 *Muss-Vorschriften* が施かれてゐる。ヴィスコンシン州に於ける規程はこの種のものである。即ち年齢四歳から六歳までの兒童最少二十五人の両親又は法律上の代理人が幼稚園の施設を提議する場合にはその學區の學務局はそれを設立する義務がある。保姆には上述せるミ同じ法令が適用される。現存幼稚園の廢止は在席園兒の數が十五人以下に下つた場合にのみ許可される。

尙他の法令は都市學區に對してのみ認可乃至義務を表明してゐる。然し趨勢は村落學區に對しても幼稚園を設立し又許可するミ云ふ方向に發展する傾向を示してゐる。所定教員資格に關しては更に注目すべき傾向を示してゐる。即ち「幼稚園並に小學校下級に對する」教員資格が漸次多く要求され來たり、その結果保姆の素養はその範圍及び價值に於て決して小學校女教員のそれに劣つてゐない程である。

優秀な幼稚園の作業方法は本質的には獨己ミ同じである。昔のフレーベル的思想が未だその生命を保つてゐる。然し人は色々な形式的束縛から斷然脱してゐる。多くの場所に於て、幼稚園の作業ミ第一學年のそれを以前よりもよく相互

に調和せんとする努力が明かに認められる。正にこの理由から人々はフレール式教材を放棄し、それに代へるに、より大きい玩具を以てした。即ち例へば眞珠の代りに大きい球、小石の代りに棒や丸太を使用してゐるが如きこれである。是等は小學校下級に於ても又利用される。兎に角この調和は幼稚園の側に於てより、むしろ初學年教育の改革を通して行はれた。ミ云ふ理由はそれが幼兒の獨自性、就中身體的獨自性により多く適合してゐるからである。幼稚園の専任視學及び顧問は屢々小學校低學年のそれと連絡してゐる。最近公布された多くの教案も、(例へばニュージャーシーに於る州學務局及びウォシントンに於る内務省教育局(文部省)からの)幼稚園と小學校の二年級乃至三年級を總括してゐる。現在多くの方面でなされてゐる教案問題に對しては幼稚園も充分な顧慮を拂つてゐる。勝れたる新らしき幼稚園の教案は、性質によつては學校に歸せらるべき諸要素からは全然自由である。即ち讀方、書方及び算術も成程用意されては居るが然し決して強調されないし、又必ずしも學科として追求されない。幼稚園の教案はむしろ園兒の活動を中心に置くことに腐心し、其等の活動がよつて以て完全に遂げられるべき處の教具を指定し、且つ如何なる習慣、評價、知識、藝能及び精神的態度が作業利得として眼中に置かれるべきかを規定してゐる。最上の幼稚園教案の一例を附録に於て示さう。

幼稚園の外的施設は勿論非常に異つてゐる。その多くは非常によく裝飾されて居り、特に明るい窓の多い部屋を設け、殆んど大抵は一階である。道具や玩具にもモンテソリー思想が屢々現はれて居り、而もその影響が殆んど認められない様な處でも左様である。ピアノのない幼稚園も稀である。又一般に學校に於て甚だ好まれる處の圓板蓄音機、木細工のための作業臺、鋸、鏈、鉋等も屢々見受けられる。且又讀み聞かせるべき幼兒向の本、又見せるべき繪本も小さい圖書館に備へてあるのが通例である。

日々の保育時間は一般に園兒の各群類に對して三時間となつてゐる。即ち保母は午前中に一クラスを、午後第二のク

ラスを保育し得るやうになつてゐる。二十五人乃至三十人以上のクラスは殆んどなく、大抵は十五人位である。但しこの際甚だ明瞭なこゝであるが、園児の二十乃至三十パーセントは屢々缺席してゐるこゝ云ふこゝを考へねばならぬ。

現在合衆國の四歳乃至五歳の幼兒數は約五百萬に達してゐる。而して幼稚園名簿登録園兒數は約十三パーセントであつた。然しこの比率はざしざし増大して行つてゐる。尙一言したいこゝは村落の集合學校 *Sammelschule* (その兒童を毎日大抵の場合には自動車で狩集めて運んで來る) にも幼稚園が附設されてゐるこゝ云ふこゝである。勿論これは極く僅かな範圍に於てではあるが、このこゝは交通問題の困難さ併せ考察さるべきであらう。

總括して云へば、合衆國に於ける幼稚園は他の諸國よりはるかに普及して居り、特に學務局よりの甚だ充分なる保護を受けてゐる。即ち公的學校の一部とされてゐるが故に、又小學校下級兒童が屢々讀方や書方に於て特に驚くべき迅速な進歩を見せるのも、その大部分は幼稚園に於ける合目的な注意深き豫備教育に歸せらるべきであらう。

## 附 録

### 序

この教案は材料を基こせるにあらで、幼兒の活動を基こしてゐる。無數の活動の内から選擇するに際しては、次の四つの觀點が標準とされてゐる。

- 一、その活動が他の何處に於てよりも幼稚園に於てより良く教へられ得べきこゝ。
- 二、獲得されたる完成、知識が凡ての幼兒に取つて缺くべからざるものであるこゝ。
- 三、その活動が幼兒の特殊の興味又は需要から生じて來たものたるこゝ。
- 四、この結果が幼兒の全的舉措に對して好影響を與へるべきもの。

教案としては次の六大種目が挙げられる。

1、新しい環境への順應(幼稚園の部屋を覚えること、外套の始末、ノックや振鈴に對する反應、命令の理解と實行、皆の名前を覚えること、事物の名稱及びその發見)

2、健康的活動(手を洗ふこと、物を口の中へ入れぬこと、便所の使用法、天候によつて上着を厚薄に加減すること、醫師の診察に馴れること、グルッペを作つて集まること、遊ぶ場所を決めること)

3、身體的活動(自發的な疾走、跳躍、攀登り、飛躍等、強制的でない鍛冶屋遊び、曲馬遊び、農夫遊び、鬼ごっこ、探し遊び——或は聽覺により、或は視覺により、或は觸覺により、或ひは嗅覺によつて)

4、家庭的活動(まごご遊び、部屋片付け、掃除、電話遊び、人形遊び、人形の着物作り、着物の洗濯、アイロン掛け、機織り、料理、庭作り等)

5、社會的活動(商人遊び、商店作り、賣買、クリスマス祭り、プレゼント調べ、ツリー飾り、プログラム作成、本屋遊び、本の正しい取扱ひ方、公園へ散歩、消防隊見學、音楽、自然力——風、太陽、雨、雪——の觀察)

6、手洗活動(眞珠つなぎ、穴つなぎ遊び、習字、遊戲、書き方、丸太での積木、シャボン玉作り、粘土細工)。

以上の内からなほ二三を参考のために細かく述べて見れば、次の如くである。數學は上述の六大種目の番號を表はす。

仕事	材料	目的・結果	方法
(1) 人の名前を覚えること	保姆、幼稚園、園長 園所在地、友達、醫師、看護婦	一、人々を正しく呼ぶこと 二、大人及び友達に禮儀正しく挨拶すること 三、「さん」「先生」「さよなら」等 四、ミスター、ミスセス、ミスの使ひ分け 人を紹介する仕方	園舎を巡回せしめる、先生達を紹介する、友達を紹介する、それを忘れさせぬやうに紹介することをする。

<p>(2) 部屋の中の物の名前を覚えること、遊び場所を選択すること</p>	<p>(5) 蒐集</p>
<p>窓、扉、寒暖計、通風機、室、床、机</p>	<p>木葉、種子、球根、石、箱、木片、布、糸、絲卷</p>
<p>一、部屋に對する關心 二、部屋の秩序を望む心 三、部屋の温度の觀察 四、床を清潔に保つ 五、日光の直射の下で仕事をせぬこと 六、吹き曝しの場所を避ける 七、色々の遊びに夫々適合せる場所を選ぶ</p>	<p>一、蒐集する喜び 二、蒐集の意義 三、役に立つ物に注意すること 四、かゝる品を幼稚園へ持参すること 五、持参した物を他の幼兒にも分ち與へる 六、楓その他の葉に對する知識、種子の種別分類 七、同じ大きさの石を集めること 八、種々の物を利用すること、廢物利用、自然物利用</p>
<p>部屋の物事についての會話 幼兒を勝手氣まゝにさせぬこと 他の幼兒の邪魔にならぬやうに場所を選ばせる</p>	<p>蒐集の目的で散歩させる一つの物を示し、それと同じものを探し拾はせる 集めたものを封筒の中へ入れる箱、コップ等へ保存して後で排列させたり、種子植付けしたり、寫生させたりする 幼稚園で利用し得るやうなものを幼兒が自宅から持参するやうに促がす</p>

(エーリッピ、ヒラの「デモクラシーの學校」に據る)

(完)



# 子供の繪 (其四)

菅原 教造

## (十) 構圖・描現・技巧の誕生

道、大道、地盤、歸着點——かういふものは、つまり向ふ岸ですから、さうにもぎりつく島のないものです。何か手懸りがなければ、直接にそこへ行けないのです。渡りをつけなければ、橋渡しがなければ、向うへ渡つて行かれないのです。

一つ比喻を出して見ませう。無色透明な完全な光學ガラスは眼に見えませんが、視界の方で言ふと、さういふ物はないんです、ないと同様なんです。なんにもないものを、さう考へる事も出来ないでせう。手懸りになるものを捜しながら、ふみ思ひついて、ハーツミ息氣いきを吹きかけて見ます。さうするに、ムラムラツミ湯氣が走つて、光學ガラスが曇ります。これが手懸りです。これが橋渡しです。この曇りは、一定の場所を占め、一定の形をとり、それがよく眼に見えます。實は光學ガラスは、初めからそこにあるのですけれども、たゞ眼に見えなかつただけなのです。湯氣がかゝつて来て、その湯氣が見える——これは、湯氣を見て居るやうですけれども、實は、湯氣を手懸りにして、湯氣を橋渡しにして、初めて光學ガラスの存在を知る事が出来たと言ふ事です。さて一旦それが解れば、今湯氣の場所・湯氣の形と言ふ手懸り、さういふ條件だけによつて知つた光學ガラスは、實は湯氣の地盤なんですから、そんな限られたケチなものでないと言ふ事が、解つて來るでせう。光學ガラスは光學ガラス、湯氣は湯氣で、この二つは別のものです。光學ガラスが秋ならば、湯氣は落

葉です。湯氣は光學ガラスを考へさせる兆に過ぎません。それですから、手を盡して湯氣をいろく變化したり、或は他のもの——湯氣より、もつこい、手懸りになるものを持つて來たりして、試して見るに従つて、光學ガラスの正體が、追追にハッキリして來るでせう。光學ガラスの存在は第一段です。湯氣のかゝる事は第二段です。湯氣によつて光學ガラスを考へる事が第三段です。

これに似た事を、やはり將棋の方の理論家が考へて居ります。先月(昭和十年十二月)の東京朝日新聞に、金子八段の將棋觀戰記の、「讀みこいふこい」を言ふ序説が出て居りました。それに次のやうに書いてあります。棋士が盤を見てゐるに、自然に一つの形が決つて來る。これが第一段である。するに、頭の中で、現在の局面に、その形との間に、薄つすらしした橋がかゝる、これが第二段である。次にこの第一に第二に渡した橋を、一歩々々踏みしめて渡る、これが第三段である。この第三段が讀みこいふ事、つまり將棋の方の思惟である——に。金子八段は、第一段は無意識的のもの、第二段は意識的のもの、第二段は兩方の中間のものであると言つて居ります。

さてこの橋、その渡り方の問題です。随つて一つの形へ渡りのつけ方の問題です。科學的思惟と言ふものは、理の理であり、純の純なものですから、科學的思惟は、本來は形のないもの、直觀に現はれないもの、即ち手懸りなしで考へて行かれるものであつていゝのです。それですから、本筋から言へば、分子が原子が量子が言ふやうな直觀的な模型を用ゐない物理學、たゞへばニュートン力學や相對性原理などの體系が立派に組織されるわけです。この點から言へば、幾何學で圖形を用ゐたり、化學で構造式を用ゐたりするのは、工藝家はごもかくもして、科學者としては、凄さが足りないと言へない事はないでせう。

藝術的思惟になるに、思惟はさうしても直觀と縁が切れません。構成と形態とかなない藝術、形と構圖とかなない

作品を言ふものは、考へられません。彫刻には量がつきものです。繪には形や色や線がつきものです。音楽には音色やメロディやリズムがつきものです。文學には言語がつきものです。藝術的思惟は、何か見らるべき形態とか、聽きうべき構成とか言ふやうな、直觀的の記號によつて、自己を代表又は象徴させます。この代表は表現とも言はれるものであり、この代表又は表現に於て、「思惟を直觀が一如となり、直觀が思惟にもに光る」のです。所謂カスが正味になるのです。もしカスが正味になり切つてしまへば、この直觀的構成はもはや手段でなくなつて、そのまゝ思惟の領域へ昇格してしまふのです。そのためには、「構成は思惟のたつた一つの代表者である」言ふ抜き差しのならない、動きの取れない、切羽詰つた光榮ある地位に置かれるのです。軍艦が進水式をする刹那に、何百萬貫の重さを、たゞの一點で支へてゐる言ふ際しい瞬間なのです。この氣持は、嬉しいにも苦しいでせう。ホッとする溜め息を呑んでゐるのです。

このやうに一遍で構成が出来上つてしまへば、それつ切りの話で、問題は簡單ですみます。しかし、こゝで今暫らく思惟を直觀を合體させずに置いて、その二つの間の關係の問題、思惟が直觀を合體するまでの間の、自力的に言へば思惟のものを深い苦悶の瞬間、他力的に言へば至道無爲の境地を考へて見ませう。藝術的思惟の本領、その純の純な正體は、(八)の「心境の繪の誕生」といふ項で疾走にも速度にも言つて説いたやうに、ものごみが形をこつて現はれる前の氣合であると言つていゝでせう。これは直觀を呼び出す思惟の掛け聲であり、形を牽き出す思惟の獨り角力です。構圖の誕生を告げ知らせる曉鐘の響きです。

この掛け聲に牽かれ、この氣合ひに乗つて、どんな形が出て來るか。藝術的思惟が呼び掛ける形態はどんなものか。一線・一點か、或は白紙のまゝか。一呼聲・一彈絃か、或は沈黙か。一顆の石・一握の粘土か、或は拳中の空隙か……藝術の道が人間の道と同じものならば、恐らくは、捨てゝ捨てゝ捨てゝるほゞ、癖のない・純な・新しい形が生れるのだと言つてい

いでせう。この煮え詰つた一點が、統一言ふ事です。

行き詰まらなければ、考へは出て来ません。出て来る言ふのは、きまりがつく、まごまる言ふ事です。行き詰つた時には、今までの進行を捨て、よく何かを見たり聴いたり、つまり臨時に何か他のものに向ふものです。そして、その時、そこでぶつかつたものが、大切な手懸りになつて、考へがまごまるこごが珍らしくありません。

よく、「つまり、こんな風なものじゃないでせうか」なき言つて、變な手真似をしてゐる途端に、考へがまごまる事があるでせう。この場合、手の運動が大切な手懸りなんです。これは、初めはほんの有り合せのものなんです、それが爲に一ミ跳びに、全體の組織の起點になつてしまふのです。

統一の途中言ひますか、まごまりかけてゐる氣持言ひますか、さう言ふ場合には、何かを捜してゐるのですが、搜してゐる言ふのは、何か可能的な、ものになりさうなものが、何處かにムクムク動いてゐるからです。さういふものが、あてに向つて行かうとし、何かにぶつかうにしてもがいてゐるのです。それが、豫期しなかつた手の運動まごもに、そのもつれが樂に解けて、煮えたぎつてゐるお湯に、一ミ掬ひの水を落したやうに、ビタリミ、まごまつてしまふのです。このまごまるさいふ境地を説くのに、「動きが姿になるのだ」言ふより他に、ごうもうまい言ひ現はしやうがありません。人間の行く路としては、走つてゐる動きを一旦姿に置き換へて、それを眺めて、反省しながら、更に次の動きのスタートを切るより他に方法がありません。何ごも知れないものが、たゞ動き——動き——動き——動いてゐるだけでは、それはXが無限から無限へ飛んでゐるやうなものです。(七)の「人自然さいふ項の初めに、「天來の斷案」「素の心」さいふ事を説きました。又(八)の「心境の繪の誕生」さいふ項で「個性の無限性」「人間の永遠の若さ」さいふ事を説きました。それでも解るやうに、もごご心の本性、意識の正體は、自分で自分を知らずに、たゞ無窮を追ふ所にあるのです。それは凄

には實に凄(ひび)いものなんですけれども、このやうなあるがまゝの即ち自(ひ)即(ひ)的(ひ)の境地では、第一に自分(ひ)と言(ひ)ふものも解(ひ)らず、自分のある位置も解(ひ)らず、又自分は一體何處へ行くのか、その見當さへもつかないでせう。

そこで、他人(ひ)からさう見られると言(ひ)ふやうな事はさもなくもして、少くも自分がさの邊まで走(ひ)つて來(ひ)たかと言(ひ)ふことを知りたくなるでせう。そのためには、さうしても、一瞬間立ち停(ひ)つて、動きを姿にして、それを見詰めるより他はありません。これが自分を意識するといふ對(ひ)自(ひ)的(ひ)の境地です。(八)の「心境の繪の誕生」にいふ項で説いた夜の宿です。それから、自分(ひ)と言(ひ)ふものは本來社會(ひ)に合(ひ)まれてゐるものなんですから、これまでの動きを姿にして見詰める事は、同時(ひ)に他人(ひ)に解(ひ)るやうにそれを表現する事にもなるでせう。これが他を意識するといふ對(ひ)他(ひ)的(ひ)の境地です。自(ひ)即(ひ)的(ひ)は動きですみますけれども、對(ひ)自(ひ)的(ひ)對(ひ)他(ひ)的(ひ)の姿を要求します。動きは思惟であり、姿は思惟の直觀化されたものです。直觀的構成です。

動きを姿にする瞬間と言(ひ)ふのは、つまり動きにきまりをつける瞬間、動きがま(ひ)ま(ひ)まる瞬間と言(ひ)ふ事です。この動きがま(ひ)ま(ひ)まると言(ひ)ふのは、全力を盡し切つてへたはる事でもあり、又往く所まで行きついた事でもあり、一生涯にたつた一遍と言(ひ)ふやうな氣のする瞬間です。一期(ひ)一會(ひ)の氣持です。つまりその時に今までの動きの總決算をするのですから、結論として全體の味を噛みしめる事になるでせう。これが締め括り、即ち全體感、と言(ひ)ふ事であり、統一、と言(ひ)ふ事です。

統一する、全體の味を出すと言(ひ)ふのは、消極的に言(ひ)へば、前に度々述べたやうに、捨(ひ)て、い(ひ)ゝものをさ(ひ)しく捨(ひ)て、しまふことです、それを積極的に言(ひ)へば本筋のものを握(ひ)むと言(ひ)ふ事、即ちこの部分を取つて見ても、全體の味の出てるやうなものだけを選ぶといふことです。この氣持が全體感といふ事であり、論理的に言(ひ)へば概念的構成別言すれば關係的思惟と言(ひ)ふことです。このやうに部分・部分がうまく全體を作つてゐる、即ち先づ關係が考へられることが、ま(ひ)ま(ひ)まる、

組織的、體制的、有機的と言ふ事であり、このやうなものゝ組み立て方が統一的と言ふ事なんです。それですから、藝術的思惟が直觀に即する時、即ち動きが姿になる時に、統一と言ふ事が考へられるのです。統一は捨て、捨て、行きついた歸着點です。所謂煮え詰つた一點です。何一つ無駄のない、しかも少しの破綻もないましまりです。右に述べたやうに、思惟がたつた一つの代表者たる直觀的構成をさらへる事が出來て、ホッと出る溜め息を吞んでゐる瞬間です、この瞬間に於て、癖のない、純な、新しいものが擱めるのです。これが人間の道であり、これが、これが藝術の創作です。

この統一の境地を、繪や彫刻の方の立場から、「形の素」<sup>もと</sup>と呼んで見ませう。これは、手續きとして考へれば、迷ひを捨て、行きついた宿りなんですけれども、持ち物として考へれば、授つた守り本尊であり、この瞬間に確りしたものを握りしめたわけなんです、こゝで人がすつかり生れ更るのです。形の素は、そんなものにも發展する形の總本家であり、無限の廣さに互る直觀の座標であり、視界のあらゆる可能場面を含む基本的構成です。形と言ふは、人體か木か山かかを思つたり、又は線か四角か球かを考へたりするかも知れません。しかしこの形の素は、動きが姿になつた刹那の味です。心に浮び眼に見える形でなく、あらゆるさういふ形になる基の姿です。あらゆる形を抑へてゐるカン所と言つても、又あらゆる形を生み出す氣合ひと言つてもいゝでせう。これが光つてゐなければ、作家と言ふ事が出來ないのです。極言すれば「藝術的思惟即ち形の素」<sup>もと</sup>と言ひ切つていゝのです。

形と言つて置きながら、このやうに動きか氣合ひか言ひたいのは、この形の素は、もろく靜物的のものでなく、動的のものであるからです。もう一步突込んで言へば、形と言ふ形式的の言ひ現はし方に、何か内容的のものを盛りたいたからです、意味をつけたいからです。つまり、人間的統一、<sup>ひとみ</sup>と言ふ事を言ひたいからです。美、<sup>うつくし</sup>と言つたつて、これは結局言ひ逃れのやうなものですから、何の理解のたしにもならないでせう。科學や哲學といふ眞理か價値か美か言ふやうな究竟

點は、形を離れて形をきめてゐるやうなものです。今假りに、美いふやうな絶對境が形をこる言ふ場合を考へて見ませう。さういふものがある言ふれば、それは永劫の姿と言ふ事であつて、もしく形の世界を超越し切つたものなのです。形に現はれ得ないほどの完全なものであり、形をこる事の出来ないほどの凄いものなのです。あまりに強すぎて、みんな形を持つて來ても受けつけないものなのです。つまり永久に形が破れてしまふ運命のものなのです、この絶對境にぶつかつて苦悶する作家がある言ふしても、バルザックの短篇小説「知られざる傑作」(岩波文庫)の主人公のやうに、決して作品を仕上げる事が出来ないでせう。このやうに、絶對的統一の世界は、あらゆる作品を燃やし盡してしまひますから、こゝには作品はないのです。作品は形の素あつての作品ですから、それは人間的統一の世界にきまつてゐます。それですから、形の素いふ事の意味は、人間的統一と言ふ事です。人間的の生き方、人間的の氣持のましまり、さういふものを視界の言葉に翻譯し、繪や彫刻の世界の言葉に言ひ直して、形の素と言ふのです。

右に表現は思惟に直觀が一如になり直觀が思惟にも光る事である言ふ申しました。又構成は思惟のたつた一つの代表者である言ふ申しました。そのやうに、形の素は藝術的思惟が心像によつてその組織・構成を代表させる氣合であり、動きが姿になる刹那であり、思惟にも心像が光るハツとした瞬間の火花です。ぐづくしてゐたら、折角まきまつたこの構圖が、歪んだり、變つたり、又は消えたりするかも知れません。火花が消えてしまふ人は、すぐそれをメモやスケッチ・ブックに描きこめなければなりません。しかし構圖がいつまでも光つてゐる人には、さういふ必要はありません。たゞへ光つてゐるにしても、又消えてしまふにしても、要するにこれは心境の繪の正味の姿であり、心像の構圖即ち第一直觀の構成です。繪の素ですけれども、繪ではありません、畫面の繪ではありません。この心像の構圖を物質化して眼に見える姿にしたものが、畫面の構圖即ち第二直觀の構成です。こゝで第一直觀の構圖が第二直觀の構圖になつて結晶して、畫

面の繪が誕生します。「(八)の「心境の繪の誕生」の項の「註」で述べたやうに、廣義の直觀に二た通りあります。第一直觀は心で描く姿であり、心境の繪を作り出す所の心像としての直觀です。第二直觀は眼で見える姿であり、畫面の繪を作る所の視界としての直觀です。「(三)の「生活の焦點——心境の繪——畫面の繪」の項で述べたやうに、子供の生活では、第一直觀と第二直觀との差はないやうなものです。しかし大人の場合では、第一直觀の心境の繪は暫定的のもので、第二直觀の畫面の繪の前階段に過ぎません。

このやうに藝術的思惟が第一直觀を物質化し結晶させて第二直觀を作り出す経路が描現です。描現と較べるに表現は廣義そのもので、右に述べたやうに、藝術的思惟が直觀第一及び第二を以て自己を代表させる事です。それですから、描現は畫面としての表現と言ふ事です。この描現に於て、思惟は描現材料例へば紙・繪具・筆や粘土などに觸れ、こゝで技巧と言ふ問題が成立します。そして技巧に於て、構圖が形・色・線の問題となつて展開します。つまり思惟が第一直觀に即した瞬間に構圖を生むやうに、思惟は息氣をゆるめずに、一氣に第二直觀に即して技巧を生み、こゝで畫面に形・色・線が誕生するのです。それですから、技巧が本筋になればなるほど、手段として術としての方便を離れて、藝術的思惟の領域に昇格するのです。あらゆる描現材料が思惟になり切つてしまふのです。心境の繪と畫面の繪がピッタリ一つになるのです。思惟はどんな技巧を用ゐて畫面を構成するかを知つてゐるのです。

金子八段の記事にあるやうに、第一段の一つの形が向ふ側のものであるならば、第三段の讀み即ち一歩々々橋を踏みしめて渡る事が此方側のものでせう。第一段の一つの形が何處をなしに何處かに映つてゐるから、第三段の讀みに、初盤から終盤までの見透しがつくのです。例の十二卷のフィルムを一遍に見る事が出来るのです。科學者の考へ方も、大體これに似たものと言へるでせう。純な構成と言ふ言葉は當らないかも知れませんが、こゝもかくも、このやうな純粹な理



論的の構成は、現實の局面を引つ張つて、第一段に向つて進みます。かうして橋を渡つて向うへ行くのです。これを比喩的に言つて見れば、渡し船のやうなものです。此方岸から積んだ荷物を、嚴重に検査して、棄てるものは棄て、向うの條件に合ふやうな品だけを向う岸へ渡せば、それでいゝのです。この種類のやり方は、實に澄み切つた、鮮やかなもので、名刀の刃えのやうな味がします。

所が繪さか彫刻さかになるさ、この手順が違つて來ます。第一段の一つの形が、やはり映つてゐます。これが右に述べた形の素です。しかし將棋の場合に反對に、第一段から橋をかけて、現實の局面の方へ渡つて行くのです。形の素が、その現實の局面さ揉み合つて、其處で自己の代表者さして第二直觀即ち畫面を作り出すのです。しかもこのためには、現實の局面さ言ふ思ふやうにならない不思議な化け物さ闘はなければなりません。何故か言ひますさ、このぶつかつてゐる現實の局面は、海のものも山のものもつかないたゞ可能性だけの世界、玉石渾淆の世界、混沌の世界であるからです。極言すれば何もな世界さ言つてもいゝ位のもです。假りに何かあるにしても、素材即ち「ものになる前の何か」、「ものになるかも知れない候補者」があるだけなのです。形の素がこの混沌を淨化し、この素材を統一して作品に仕上げなければならぬのです。このやうに、現實の局面はこの素材、即ちものになる前の假りの姿に過ぎません。これを繪や彫刻の方の側で言へば、自然や人體のやうなモデルさしての素材、即ち第一素材さ、紙・繪具・筆又は粘土の塊のやうな描現材料さしての素材、即ち第二素材です。

形の素が橋を渡つて、この素材の世界、混沌・不統一の世界へ降りて行くのです。そして、それに物質化されながら、それを純化し統一するのです。もし素材の刺戟に煩はされずに、一遍で思惟の要求する通りの作品が出来上つてしまへば、その作品は神品であり、その作家は神の手を持つ人でせう。それは餘りに冴えた、餘りに澄み切つた、餘りに人間離れの

した創作です。近代の彫刻家に例を求めたらロダン、現代の畫家に例を求めたら横山大觀が、この珍らしい代表者です。大觀は草稿や下畫なしに一氣に本仕立てに力作を完成します。

さういふ特別の作家は例外として、一流と言はれる大家にしても、皆草稿を練ります。幾重にも下繪を貼り重ねて、その上へくゞ描いて行きます。(九)の「心境の繪」畫面の繪といふ項の初めに述べたやうに、小品や即興的作品は、思ひつきがハッキリ出てゐるだけに、一氣に向う岸へ跳び越せます。しかし大作になれば、思ひつきと仕上げとの間の交渉、即ち思惟と素材との間の紛争が、何度もくゞ繰り返されますから、さう一氣に向う岸に行き着くことが出来ないのです。(七)の「人々自然」の初めに述べたやうに、完成は人間離れのした瞬間の喜びです。人間のする仕事は未完成であるから初一念の追求があり、涙ぐましいほどの無限のやり直し、血の出るやうな果てしない反復があるのです。これが人間の修業であり、人間の道です。かうして苦勞を重ね年月をかけて出来上つた力作は、實に複雑な構成であり、偉大な組織であり、一瞥見ても見透しのつかないほどの完成さを與へます。科學にても藝術にしても、すべて人間の力作・大作は、その中心に立つ思惟が覆ひ隠されて見えないほごに、組織・構成がもの凄いなのです。思惟が顔を出してゐないほごに仕上げが行き届いてゐるのです。優れた作家や科學者は、決してものにならなかつた思ひつきを語るやうな事は致しません。

思ひつきと仕上げとの間の交渉によつて、思惟と素材との間との紛争によつて、却つて作品に豊かな人間的の味が出て來るのです。この紛争のない所謂「神品的の構成」の作品は、澄み切つた、冴えた、貫き透るやうな凄さのものでせう。同じ思ひもよらないと言ふ驚嘆のうちにも、こゝには殺氣が感じられます。しかし紛争によつて仕上げられた所謂「人間的の構成」の作品には、考へ抜いた苦勞のあみの見えないほごにこなれた完全さがあり、努力の深さ・周到さが隅々にまで行

き渡つてゐます。同じ思ひもよらないと言ふ驚嘆のうちにも、こゝにはなつかしみが感ぜられます。この意味で、科學の立場から、觀察や實驗を完備した學說構成の偉大さや、道德の立場から、完成された生活態度の例を一々數へあげたら、限りがないほぎでせう。

以上、技巧の問題について述べた本筋の事を概括して見れば、一方將棋や科學の構成と藝術の構成との差が明かにされ、他方藝術的構成のうちでも、神品的の構成と人間的の構成との別が認められます。しかも、それを綜合してしまへば、こゝに學問の道・藝術の道・人間の道が、一つのものとしてポーツミ現れて來るでせう。(七)の「人ミ自然」さいふ項で、繪ミ言つても、人ミ言つても、道ミ言つても同じ事であるミ申しましたが、このやうに、こゝで科學を一つ加へても、問題はやはり同じ事です。

### (十一) 陶器の技巧——河井と濱田

技巧テイクとは、「思惟を以つて素材に突入する事」です。同じ素材にしても、第一素材即ちモデルにはモデルの都合があるでせう。モデルミ言ふものは、さうせものになる前の姿なんですけれど、そこには、何か妙に牽きつけられるものがあります。又同じ素材にしても、第二素材即ち描現材料、たミへば、紙には紙、繪具には繪具、筆には筆、粘土には粘土の都合があるでせう。それがまた思ひがけない創作の手懸りを興へてくれる事が珍しくありません。いくら偉い形の素にしても、無限に進展する素材ミしての新しい文化に觸れた瞬間には、何か考へさせられるものがあるでせう。

このやうに、思惟は素材を揉みながら、やはり素材に揉まれるのです。しかし大局から考へるミ、それでゐる思惟はやはり素材を揉んでゐるのです。この揉み揉まれる境界線に立つて、能アクトイフ動パッシヴミ所、動を兼有する藝術上の不思議な二重裝置

は、人類の手です。手は思惟を素材を化合させて一體のものとする觸媒カタライザです。技巧は思惟が素材に突入して作品を仕上げる事ですが、そのために手が橋渡しをして、思惟の統一を素材の刺戟を二つながら活かすのです。それですから、手のない作家即ち作らない藝術家や、手のない藝術愛好者即ち鑑賞家や批判家には、技巧の問題の解る筈がありません。又この點から、同じ作家のうちでも、ある特定の、形のいゝ人、色のいゝ人、線のいゝ人が、段違ひにきめられてしまひます。名手と言ふのは、藝術的思惟にピッタリ合體した恵まれた技巧を持つ人々です。

(七)の「人自然」といふ項の、自然についての第三の考へ方の所で、技巧の問題を述べました。それをもう一度こゝで言ひ直して見ませう。右に、揉み揉まれると言ふ思惟を素材の二重の關係を話しました。この關係を具體化してゐる二重裝置としての手を中心として技巧の問題を考へるは、(七)で述べたやうに、繪から工藝から踊りへ移るに従つて、第二素材がおひくゝに思惟に肉薄し、思惟を描現材料との關係がいよゝゝ直接的になり、技巧がますます正直になり、むき出しになつて來ます。

この點から、技巧の問題として、一方「運命の神のやうな描現材料としての第二素材の威力」を、他方「手によつて素材をこなす思惟の冴え」を明かにするために、子供の繪の技巧を説く参考として、工藝の代表として陶器について述べて見ませう。

一般の考へ方によれば、眩ゆい寶石のやうな礦物固體、美しい貝や珊瑚や瑇瑁のやうな生物體は、造化又は天工即ち原構成です。これに對して陶器は人工即ち再構成です。原構成の自然物が、思惟のない隨つて無技巧の作品ならば、再構成の陶器は、思惟が第二素材に働いた技巧の産物です。このやうな原構成・再構成といふ考へ方は、(七)の「人自然」といふ項の、自然についての第二の考へ方で述べたやうに、自然をモデルとして繪や彫刻を作るといふ事から導かれたものでせ

う。しかし實はこの考へ方は陶器にはあてはまりません。支那の陶工は、寶玉をモデルにして辰砂を作つたのでもなく、柿右衛門は、決して傳説にあるやうに柿の實をモデルにして色繪を作つたのでもありません。陶器は再構成でなく、初めから原構成なのです。

原構成としての陶器は、第一素材としてのモデルを離れ、第二素材としての土・釉薬・火等の描現材料の世界から、全く新たに構成されたものなのです。それですから、全く豫期しない作品が生れて來るのです。原構成と言ふは、さうしても再構成を思はせませんから、さういふ關はりのない言葉を選んで、これを新構成と呼んだらいいでせう。

陶器の形を決定するには、土を手づくねにするか、或はロクロに載せて廻轉しながら、手で壺や鉢や茶碗の形を導きます。土と言ひますけれども、砕いた石を混ぜて煉り、これを高熱度で焼けば、硬い石になつてしまひます。釉薬は、鐵とか銅さかの化合物が多いのですから、素焼の土器にその釉薬をかけて焼けば、窯の火の性質によつて、鐵や銅が還元したり酸化したりして、金屬性のものになります。陶器と言ひますけれども、さういふわけで、實は石に金屬の衣を着せたやうなものです。形の作り方、釉薬のかけ方、繪の描き方は、手による思惟の直接の支配ですけれども、ロクロの廻轉は機械の構成により、釉薬の還元や酸化は火の構成によるのですから、思惟は素材に揉まれてながら、この素材の法則をも自分のものにしなければなりません。次に陶工の製作の工程を順に記して見ませう。

**廻轉の構成**——軟かい土で形を作るのに、手づくねミロクロでは、素材のこなし方が違ひます。同じロクロでも、蹴ロクロミ手ロクロで、またそれが違ひます。陶工が手づくねで茶碗を作る場合には、手が直接に思惟と素材とを繋ぎますから、さうしても形にその陶土の作風が出ます。みんなに捨てようとしても、一旦ついた作風は、言ひ換へればその人の癖ですから、本人がいやになつてもついて廻るものです。思惟がいつも自分のカスを見せつけられる事になるのです。そし

ていつの間にか、(八)の「心境の繪の誕生」で述べた意味の、凄い個性が眠つてしまふのです。次に陶工が蹴ロクロを使つて茶碗を作る時には、形は手で導かれるのですけれども、廻轉の一定の速さから来る機械的の構成が形の上に現はれて来て、手から来る作家の癖を少くします。最後に手ロクロを用ゐて作る場合には、形はやはり手で導かれるのですけれども、廻轉が非常に速いものですから、チョットした手の動きでも、思ひもよらない形を生みます。前の場合と較べるに、手から作る作家の癖よりも廻轉の速さから来る形のきめられ方が強くなります。つまり思惟がロクロの廻轉といふ素材に強く揉まれるのです。(七)の「人ミ自然ミいふ項の初めに述べたやうに、一點のカン所を抑へて、あミは任せつ切りにして置くといふ氣持です。

**釉藥の構成**——釉藥は化學上の操作によつて構成されます。今日では、化學者の示す構造式によらなければ、釉藥を考へる事が出来ません。しかしそれは素材ミしての問題です。思惟がその素材を、さのやうにこなすか言ふ所に、陶工が作品を生み出す藝術の領域があるのです。歴史的に考へるに、釉藥は人類の野性の科學によつて誕生したものです。何千年前の原始工人の偶然の發明なのです。さういふ考古學的の年代に遡らなくとも、それに似た面白い話は、手近にいくらもありません。

栃木縣に盆子ましこいふ雜器の産地があります。そこで出来る水ガメの釉藥は、誰でもよく知つてゐるやうに、茶色の地に黒色で流し文様のついたものです。この茶色の釉藥は、この地方から出る軟かい石から作られます。今から八十年前に、窯の割れ目を、間に合せにこの石で塞いで戸の代りにした事がありました。所が窯の火を受けた面が、トロッとした茶色になつてゐたのです。これが盆子ましこでこの釉藥を發見した動機です。又流し文様の黒色の釉藥は、何百年も前に、窯をたく松薪まつまきの灰が、茶色の釉藥の上に落ちて黒くなつてゐるのを見て、灰の溶液でこの黒い釉藥を作る事を知つたのださうで

す。

さういふ釉薬についての現代化学や原始化学の構成は、素材としての釉薬の問題です。そんなら陶工の思惟は、現代化学の精密な操作さういふ素材に、全く揉まれてゐるかと言ふに、決してさうではないのです。陶工の釉薬の作り方は、現代化学と原始化学の間を行くやうなもので、非常に荒つばい・大ざつばなものです。もし現代化学の操作のやうにして釉薬を作つてゐたら、出来上つたものは、工業學校の標本か、輸出陶器か、フランス陶器のやうなノッペリしたものになつてしまふでせう。そんないやなものを作りたくないために、陶工の思惟は、やはり釉薬の作り方を揉んでゐるのです。

釉薬のかけ方になれば、これは思惟が手によつて釉薬を素焼の上にかける事ですから、明かに思惟が素材を揉む事になります。陶工の釉薬のかけ方は、試験所の生徒や西洋の陶工のするやうな——例へば分子の配列を考へてゝもゐるやうな綿密な丁寧なものではありません。つぎ／＼にサツ／＼に素焼に釉薬をかける手の速さ、その沓えに、この工藝の本筋の行き方があります。この思ふでもなし忘れるでもなしこいふ、大ざつばな、つづばなした所は、やはりカン所を一つ抑へて、あまは全部ほうりつ放しにした氣合ひです。かうして、サツ／＼に釉薬をかけて、窯詰めをして焼いて、取り出した作品はピン張り切つて、引きしまつた純粹な單位の姿です。あるべきものゝ即ち思惟の要求する新構成が、ガッチリそこにあるのです。それですから、釉薬の色は、陶器本來の色で、陶器の他の何物にも見出す事の出来ない色なのです。この構成の味は、素焼の上に釉薬をかけたと言ふやうな二重のものでなく、ピッチリした一如一體の姿です。それですから、釉薬をかけたこの構成は、そのまゝで裸の色であると言つた方が、一番當つてゐるでせう。裸の色ですから、飾り氣のない、むき出しの、正直な姿です。つまり釉薬に即した陶器そのものゝ姿がそこにあるのです。例の意味の個性が、ハッキリ自己をそこに投げ出してゐるのです。疾走する思惟即ち個性の氣合ひから、或は澄み切つた利刃の鋭さのあ

る作品も出て来るでせう。或は手を觸れたら灼きつくやうな熱情が作品に燃えるでせう。

こゝで舞臺を變へます——陶器の底部には、素地の見えてゐる所があるでせう。そこには素焼ミ釉藥ミいふ二つの世界が、分析されてハッキリ出てゐるのです。これは陶器獨得の正直な構成を示すもので、素地の上に釉藥をかけてある事を打ち明けてゐるのです。舞臺ばかりでなく、樂屋が公開されてゐるのです。到著點ばかりでなく、そこへ行く手續が示されてゐるのです。裏も表になつてゐるミ言つていゝか、明瞭に尻尾を出してゐるミ言つていゝか、人間の道をそのまゝむき出しに示してゐるミ言つていゝか、さういふすば抜けた世界が示されてゐるのです。

火の構成——窪に燃える火。陶工の思惟が、この強烈な素材にぶつかると言ふ事は、一面に於て確かに自然を權威の世界・運命の世界と見る原始民族の氣持を思はせません。思惟が狙ふ釉藥の効果は、全く火の支配によつて決定されるのですから、陶工が釉藥を考へる事は、火ミ言ふ運命を念する事であり、火が如何に釉藥を育てるかについての期待を捧げる事です。陶工が化學的に考へ藝術的にまじめた新構成を、最も原始的な火ミ言ふ素材の中に投げこんで、總てをその審判に任せるのです。このやうに、作品の最後の仕上げを素材の法則の世界に置くミ言ふ事、思惟が全く素材に揉まれてゐるミ言ふ事は、他の藝術に見られない陶器獨特の立場を示すものです。

第一圖は、河井寛次郎の昭和十年の鉢です。素直な・やさしい・愛らしい中央の凹み、この凹み一ぱいに躍り廻つてゐる文様は、釉藥をチューブから押し出ししながら、投げるやうに飛ばすやうにして、ガン／＼ミつけたものです。砂に埋もれてゐる活き物が、跳び出さうミして動き廻つて、ミころ／＼その姿を現はしたミ見ても面白いでせう。中央の凹みからは、へりです。無限に伸びて飛躍しようミしてゐるへり、そのすさまじい勢ひを、ふちがやつミせきミめて斷ち切つて、強く抑へてゐます。又凹みへり、ミを境する線の凄いい切れ味。





第一圖

なだらかな中央の凹み、浮き上つてゐる文様、へりの傾斜、面の境界さういふ變化のある形の上に、釉藥が二重にかけてあります。ベトリした鉛色の釉藥の上に、トロツミした茶色の釉藥を、サツ／＼吹つかけたものです。吹雪が吹いて、地面の平らや傾斜や地上の物に應じて、雪のない處、雪の積る處が出来るやうに、茶色の釉藥は、除けられたり、かまれたり、澱んだり、溜つたりしてゐます。鉛色の釉藥は、膠のやうなシットリした味ですが、所によつては瑋瑯のやうな半透明の面白い調子になつてゐます。この陶器の全面に浮き出してゐるキラ／＼した反射の光りを見るに、無氣味さいふ言葉は當りませんけれども、この陶器が何ミなくモゾ／＼して顫動してゐるやうに感ずるでせう。さういふ活き物の皮下からジト／＼滲み出して來る、體の一つ／＼の細胞から出て來る脂肪のやうな光澤を持つてゐるでせう。

すべて右に述べたやうな釉藥の効果は、全く火が作り出してくれたもので、決して作家が一々理論的に考へた通りに出來上つたものではありません。火が一體これを造うしてくれるのか、作家は可能の世界・未知の世界・想像の世界・期待の世界、そんないろ／＼のものを、みんな火に托して、たゞ窯詰めをしたのです。そして窯から出して見て、このやうな、今まで世の中になかつたものが手に入つたので、驚いてゐるのです。誰に向つて發する問ひか知りませんが、人間はよく「自分が一體何をしたのか」を獨語するこゝがあるでせう。その氣持です。

火を念ずるこの氣持は、窯の築造によく現はれて居ります。今でも千年も前の原始的な窯の形式が用ゐられてゐるので、決して近代工學の理論を應用して築かれたものではありません。火力も昔の通りの松薪まつまきを用ゐるので、石炭や瓦斯や電熱を利用するものではありません。それですから、窯の構造は廣い意味で陶工の製作を決定してゐるので、石炭や瓦斯です。さういふ非近代工學的な、原始的な、不自由な條件の下で、即ち手を封じられてゐながら、河井寛次郎や濱田庄司が、樂々こあの美事な陶器を作つてゐるのです。手を封じられて樂に動くと言ふ事は、名工でなければ到達する事の出来ない境地です。

**文様の構成**——文様と言つても、土を煉り合せて文様を作る煉り上げもあり、釉藥の文様もあります。又釉藥の文様にしても、立體的の彫刻から平面的の文様に移る中途のものもあります。これを版畫の原版にたゞへて申して見ませう。木版のやうな凸版に當るものとしては、型が打ち出すもの、釉藥をチューブで押し出して盛り上げるものがあります。エッチングのやうな凹版に當るものとしては、陰刻や、掻き取りや、象嵌や、透し彫などがあります。石版のやうな平版に當るものとして初めて文様の世界が出て來ます。これにも筆や刷毛で描く前階段として、蠟抜き、杓子から流すもの、チューブで流し描きにするもの、吹きかけるものなどがあり、筆や刷毛で描くにしても、ロクロで廻轉してゐるうちに描くものや、直接に描くものもあります。

直接に描くにしても、染付けや赤繪のやうな繪畫的なものから、繪高麗のやうな文様のなもの、更にもつゝ單純な文様など、いろいろあります。今、子供の繪を考へる大切な手懸りとして、その單純な巧まなものを例にさつて、陶工が文様をつける時の氣持をお話して見ませう。

子供の繪について初心の技巧いふ事が言はれるなら、これは無爲の技巧いふ事と呼ばれていかも知れません。無爲の技巧

と言ふのは、技巧があるのか解らないのか解らない、即ち思惟が素材を揉んでゐるのか解らないのか解らないと言ふ意味の技巧です。思惟と素材とを繋ぐ手が、無心に、ひきりずに動いてゐるだけなのです。それですから、思惟と素材とが擦れちがふこでも言ひますが、思惟と關係なしに素材がひきりずに動いてゐるやうだこでも言ひますが、こもかくも、思惟の立場

から言へば、思惟が超脱してゐる、技巧に離れた味があり、全く人の巧みが見えぬほぎのものです。

第二圖は濱田庄司の八九年前の作品です。この人獨特の土瓶の全體の形や、口、鉸つば、蓋の插みなぎの各部の形についての氣持の話はこもかくこして、こゝで主に文様について申して見ませう。釉藥の色は、茶色の地に黒色の文様です。この黒色の釉藥は、「釉藥の構成」の所で述べたやうに、灰が落ちて偶然に出來た自然の技巧です。

この作品には、實によくその無心の氣持が出てゐるでせう。實際創作の経路から言つても、これは筆で文様を描いたものではありません。筆に釉藥を含ませて、それをシュッと振つて、スッと釉藥を投げつけて……さうい



第 二 圖

ふ風にして、文様が作者の思惟を離れたかのやうに、そこに描現されたものなのです。無論大局から言へば思惟の現はれには違ひないのですが、投げつけた拍子に、釉藥が飛んでこんな文様を作り出すかは、その時の調子でままるので、さう

いふ一々の場面の出来ばえは、初めから豫想が出来ません。これが、(七)の「人々自然」の項で述べたやうな、ものにこだわらない、つつばなした氣持の産物です。出来上つたいくつもの作品の中で、作者の氣に入らないものがあれば、それを捨てるだけの事です。捨てずに残つたものは、作者の藝術的思惟を満足させるものだを考へていゝでせう。思惟はこの無

爲の技巧を認めるほぎに虚無恬淡なのです。「別に考へてやつたんじやないよ、ひきりでに出来たのさ」を言つて笑つてゐるのです。



第三圖

第三圖は、やはり濱田の昭和十年の茶碗です。この文様の出来方を申しますと、鐵化合物の釉藥を、穂先きの長い犬毛の筆に含ませて、茶碗へ持つて來ます。それから先きが問題なのです。廣い意味で言へば描くと言ふ事には違ひありませんけれども、筆が觸れるか觸れないかと言ふ際ごく瞬間に釉藥が落ちる、その落ちた拍子に文様が出来ると言ふ……さう言ふ描き方なのです。「何を描かうかな」と思つてゐるうちに——或はまだ思はないうちに——ひきりでに描けてしまふのです。小さい玉

は、筆を持つて來た時に、勝手に向うの都合で、ボタ／＼滴り落ちたものに過ぎません、筆は若い犬の、喧嘩をする時に逆立つ、シャリ／＼した頸の毛で作ります。この作者の話ですが、「一年に三千個の陶器に文様をつけるとして、盆子まじこで今の窯を築いて五年になるから、一萬五千個の陶器に文様をつけた事になる。それがたつた一本の筆を使つて、しかもその種

先きが少しも擦り切れない」さうです。かういふ風に、結果から考へて見るによく解るのですが、筆を使つてゐるのですけれど、實は筆で一々描いてゐるのではなく、筆はたゞ釉藥を導くだけなのです。筆に導かれた釉藥は、自分の都合で勝手に流れ落ち、滑り落ち、滴り落ちるだけなのです……

右に「廻轉の構成」の所で手ロクロの事を述べましたが、それと似てゐるのです。大局から言へば、やはり思惟が筆を導いてゐるのですが、考へやうによつては、筆に導かれて思惟が釉藥の落下をいふ素材の動きに揉まれてゐる言つてもいいのです。思惟はこの無爲の技巧をのんびりと承認してゐるのです。(七)の「人自然」といふ項で言つたやうに、カン所を誰かに抑へてもらつて、自分は全く手放して暢氣にしてゐるのです。間が抜けてゐて、十分に尻尾を出してゐて、それでチャンと縮りがついてゐるのです。呼ぶ聲に牽かれて踏み出した一足が、思ひがけない處へ連れて來られたのです。かういふ例は、支那の工人の生活にいくらでも見出されます。支那では、昔でも今でもですが、陶工が庭に天目茶碗を何百並べて置いて、釉藥に浸した帚をその上でビュー／＼振り廻はして文様をつけるやり方があるさうです。複雑な構圖に見える赤繪にしても、支那の陶工は、この氣持で描いてゐるのです。たゞ見當をつけて、グン／＼ミサツ／＼ミ描いてしまふのです。

無爲の技巧を説いたついでに、やはり巧まない單純な、子供の初心の技巧の例を擧げて見ませう。技巧は思惟が素材に突入する事であり、素材にはモデルとしての第一素材と、描現材料としての第二素材がある事は、右に述べました。初心の技巧と言ふのは、思惟と素材との關係が、淡いと言つていいのでせうが、それで不思議に描現の急に觸れてゐる事です。例へば、素直な人の眼のやうなものです。キツキツ一點を見詰めてゐるのではないのですが、それで大きくフックリものゝ急所を見てゐるのです。これは詮索の眼でなく、同感の眼です。大人の場合では狙ひは一點に集中する

のですが、子供の場合では全局面が狙ひになつてゐるやうなものです、つまり、大人が捨て、捨て、握りしめた癖の

ない・純な・新しい形が、苦勞なしに思はれるほごノンビリミ出てゐるのです。

こゝに子供特有の形の素に即した技巧があるのです。

子供の思惟は、淡くつて鋭いと言つていゝでせうか——大人の文化と言ふモデルミしての第一素材になじまずに、文化の悪い癖を受けずにゐるために、即ち純であるために、形の素に大人の思ひもよらないやうな新しい見方が出て來るのでせう。それが、癖のない・離れた味の面白さです。又子供の思惟は、第二素材といふ新しい世界に觸れて歡喜すると言つていゝでせうか——今まで知らなかつた描現材料、豫期しなかつた素材を自分のものにした時に、思惟ミ素材ミを繋ぐ手がさうしたらいゝか解らずに、たゞ期待に充ちて驚きミ喜びミで慄へてゐるのです。思惟が素材を揉むところではありません。謂はゞ思惟が躍る氣持を抑へてそつこ素材に觸つてゐると言つていゝやうなものです。例へば、子供が初めて毛筆を持つて半紙に何かを描く時なきがそれです。その無邪氣な・癖のない・純な描現を見てゐるこゝ、あらゆる罪を消されて、人の心が溶けるやうになるほごです。



第四圖は、第一回目にお話した子供が、一年生の時に、初めて毛筆で描いたものです。大人の立場から、文化的の表現を用ゐて言つて見れば、陶器の畑の繪高麗を、チョッキミ原始的にして、しかも何ミなく現代文化の味を加へたものと言へない事はないでせう。しかし、これを描いた八歳の子供は、陶器の歴史も知らず、その趣味もなく、また鑑識の出來る筈

もありません。子供の時代を全く忘れてしまつた大人にはさうしても解らないのですが、このやうな童心の構圖・初心の技巧は、一體どこから出て來るのでせう。一體子供の持つ形の素はどんなものでせう。専門の畫家でも、こんな癖のない・純な・新しい形、これだけ超脱したものは、そんなに描けないと思はれる位のすばらしさです。

うい／＼しいけれども、ものにこだわらない・大膽な所があり、優しいけれども、ズバリとした離れた味があり、無邪氣である、超脱したものが樂に出てゐるのです。この出ばえは、やはり誰かにカン所を抑へてもらつて、自分は暢氣にしてゐる氣持です。「さうしてこんなにい／＼繪が描けたの」をきかれても、「だつて描けたんだもの」を答へるだけです。大人ならば「一體この私がこんな事をしたのか」を言ひたいほごな、純な・正直な・謙遜な氣持です。自分の大切な持ち物、自分の守り本尊が、自分に解らない心境です。

文化——「人々自然」についての第二の考へ方からすれば、自然は文化の中に含まれます——はモデルとしての第一素材であり、畫面は描現材料としての第二素材です。子供の形の素は、さういふ素材をグ／＼／＼自分のものにするのですが、さうして出來上つた作品は、(十)の「構圖・描現・技巧の誕生」をいふ項の終りで述べたやうな「神品的の構成」を言つていゝか、或は「人間的の構成」を言つていゝか、こゝに問題があるのです。實はさういふ「靈の世界」や「肉の世界」を言ふやうな大人本位の構成なみに考へたくないため、特に「子供の繪の世界」を言ふ構成を立てようとするのです。そして、こゝで繪の發祥地・繪の本筋を明かにしたいのです。人間的の構成は人間の本來の道であり、人間の藝術創作の姿です。長い年月をかけて側目もふらずに、一筋にこの道を歩めばよいのです。それでゐて、やはり人間は、自分の持ち物でない世界——神品的の構成を、子供の繪の世界に牽かれるのです。これが人間の牽かれる、二筋の道です。さういふものが、絶えず向うから呼びかけてゐるのです。

# 兒童心理學文獻抄

十五

牛島義友

## 幼兒の唱歌

子供の生活として第一に目につく姿は、友達と仲良く遊んだり喧嘩したり、一人で畫を描いたり、氣の向くまゝに節をつけて獨言を云つたりして居る、あの遊の生活である。故に今後しばらく此の遊の生活をのぞき度い、先づ音樂の方面からみる事とする。

幼兒の音樂生活は聽く事よりも自ら歌ふ事にある。未だ言葉が發せられない四五ヶ月の乳兒でも快適な氣分の時にはアアアウエー／＼等の聲を出して、別に泣くのではなく、訴へるのでもなく、唯愉快な感情を音聲に表して楽しんで居る。此状態が後の子供の唱歌と關係があるのでなからうか。即ち少し成長するとお母さんや兄弟や近所の子

供等の唱ふ歌に模して歌ひ出す様になるが、斯る唱歌の旋律の他に、普通の言葉や、話に即興的に節を付けて歌ふ事がよくある。之を話の旋律と云つて居るが、其時々感情の流を自然に現したもので興味のあるものである。

以上の他にお母さんの懷で聞く子守歌に始まつて、蓄音器やラヂオを通して色々な音樂を樂しむが、之は音樂の鑑賞力や理解力を助けるものでは非幼い時から良い音樂に親しませねばならぬ事は論を俟たない。

今普通の子供の唱歌に就いてブレイメルの旋律の理解の研究を述べる。

F. Brehmer: Melodieauffassung und melodische Begabung des Kindes Beineft f. Angew. Psychol.

36, 1925



六歳から十三歳までの子供男女七十六名に色々な實驗をして居るが、先づ子供に自分の知つて居る歌を歌はして其誤りや變化をしらべてみた。

歌には夫々一定の高さが定まつて居てハ調さかト調さか指定されるが子供が一人で歌ふ時には此指定を無視して自分勝手な高さで歌ひ出す。自分勝手云つても自分に歌ひ易い高さにするので、子供は高い音よりも比較的低い音の方が歌ひ易い。子供の聲は甲高いので高い音の方が出し易い普通考へるかもしれないが、實際は逆で、低い音の方が容易で、且正しく歌へる。或九歳の子供は自分の音域より高い音の所に來るに其部分だけ低く歌で、低くなつた時には元通りの高さに直して居た。丁度餘り音楽的でない大人が教會等で聲が出なくなるに自分だけ一オクターブ下げて低音を出したりするのと同じである。

故に子供は教はつた高さよりも低く歌ひ出す傾向がある、其數を示すに次の如くなる。

原音より低いもの 高いもの

六・七歳

二〇

四

七・八歳

二七

二一

十一乃至十三歳女

六三

三

甚しいのになるに教師がオルガンで高い音を先に出してみせても自分は低く歌つて居る。

次に子供は自分の興味に應じて高さを考へてくる。或六歳の女の子は初めハ調で歌つて居たのが、面白くなつたにみえ、第二回目は半音高く嬰ハ調で歌ひ、第三回目はト調になり、次はイ調にまで高まつた、其後興味が減するに従ひ再び低くなつた。

尙次から次々色々な歌を歌ふ場合には前の歌に影響されて、それと同じ高さで次の歌を歌はんとする傾向がある。

例へば六歳十ヶ月の或女の子は初めのカッコウ鳥の歌を變

イ調で歌つたら、次の「鳥よ來い」の歌も變イ調で歌つた、

それで實驗者がハ調でカッコウ鳥の歌を歌つて聞かせた

ら、自分でもハ調で歌ひ、而も其次の「鳥よ來い」の歌まで

ハ調に變へてしまつた由である。今多くの子供に就いて前

の歌以後の歌との類似度を示すに次の如く同一音で歌ふ者が最も多い。

	同一音	類似音	相違音
六乃至九歳	八〇	三三	四四
十乃至十三歳	三七	二二	一四

以上の如く子供の歌の調子は色々なものによつて變つて来るが、次に一つの旋律の中にも色々變化が生じて来る。

最も普通なのは水準化の現象であつて、原作には複雑な旋律があつても歌つて居る間に、簡單化し細かな中間音は省略して三音位にしてしまふ、故に子供の歌ふのミ聞いて居るミ一本調子に聞えて、高低が餘りはつきりしない。幼稚園を參觀して彼の可愛い口元からぎんなにきれいな歌が出るかミ期待してゐて、正直な所がつかりするのは幼児は未だ正しく高低を表す事が出来ず矢鱈に大きな聲ばかり出さうミする爲である。

以上は子供の知つて居る歌即ち教へられた歌に就てであるが、初に述べた如く子供は自分で即興的に節を付けて歌ふ、歌ふミ云ふよりも唯しやべるミ云つた方が正しいかもしれない。此節の付いたおしやべりの研究を述べよう。

### ネステレ 子供の音楽的創作

A. Nesterle: Die musikalische Produktion im Kindesalter Beihft. f. aug. Psychol. 52. 1930

子供に童謡や短い文章を示し、それに勝手な節を付けて歌はしたのであるが、此場合子供は藝術家の様に色々な節を付けて面白く歌ふかミ云ふにさうではなく、其間に現れる音ミ音ミの關係は大體定つて居り、而も音域が餘り廣くないので、變化に富んだ美しい旋律よりも、平凡な一本調子の旋律になり勝である。之は子供を非難する爲に言ふのではなく、子供の中に何か神祕的な力のみを見ようとして、子供を啓發し教育する事を忘れた人のために注意するのである。

然らばぎんな旋律かミ云へば、其中に現れ来る主な音程は下降の短三度である、即ちミからドミ下る節が屢々現れて來て之が子供の旋律の原型ミ云ふ事が出来る。此場合初のミの音で氣持が緊張し、其緊張が次の低いドの音で緩むので此緊張ミ弛緩を繰返して喜んで居る。其次に六度(ドラ)五度(ドン)等が多く現れる。七度(ドシ)は現れず二度(ドレ)の變化が最も少なく現れて來る音程である。

次に旋律は唯上るだけ、或は下るだけよりも上つたり下つたりするものゝ方が多いが中でも先づ上つて次に下る型が多い。即ち先づ

純粹上昇型

九%

純粹下降型

二

下降上昇型

十一

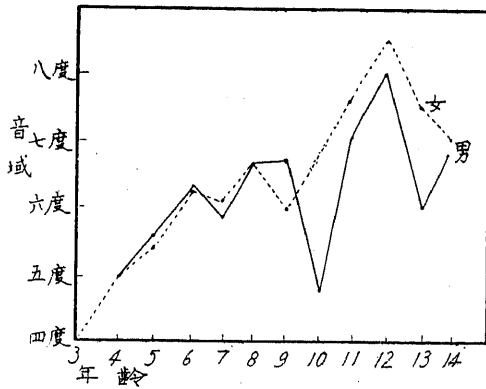
上昇下降型

七十八

氣持を高揚させて次にゆつくり元にもぎる様な歌方をする。

次に音域は三乃至四度以内のものは四、五、六歳兒に多く八歳以上の子供には無くなる。之に對し音域が一オクターブに互る者は九歳頃から後に多くなる。今各年齢の子供の平均の音域を圖示するに次の如くなり六、七歳では平均六度位で此範圍内で聲を上下させて旋律を樂しむで居るのである。

故に子供に歌はせる歌曲も斯る音域内のものを選ぶ必要がある。教へる側からは出来るだけ變化に富むだ面白い曲を教へたがるが子供には反つて苦痛であつたり、自分勝手



五〇

に修正して歌つたりするの切角の努力も無駄になるであらう。

尙此研究に於て子供の歌つた歌の高さを調べて見るに平均して男四、五歳の頃はa<sup>2</sup>であり、

分り易く云ふに、オルガンの中央の鍵盤のシ(ドレミファソラシのシの音)の所の高さである。八、九歳ではg<sup>1</sup>(ファ)に降り十二、三歳に於て再び昇つてg<sup>2</sup>(ソミラの間の黒鍵)となる。即ち幼兒の頃は甲高く次に一度低くなり又聲變りする前の十二歳頃一時高くなり、その後はずつき低くなり大人の様な低音となる。女の子は四、五歳では男の子程高

くなく、十二歳の時に最高となりその後少しく下つて居るが之も男程でない。即ち子供の時は男の子の聲の方が女の子のより高く、青春期になつてから女の子の方が高くなる。

其他子供の旋律は何度に始つて何度に終るか等の詳細な研究をなして居るが話が餘り専門的になる故に省く事にする。

以上は普通の子供の音楽生活に就て述べたのであるが音楽藝術には幼少の頃から既に天分を發揮した天才が多い。

例へばモツァルトは四歳の時コンチェルトを作曲し、七、八歳で自由に作曲したミ云はれるし、メンデルスゾーンは八歳にしてピアノの名手であり、十五歳にして既にオペラを四つも作曲した。ウェーベルも十二歳の時歌劇を作つたミ云はれるし、リストも十四歳の時オペレッタを作つて好評を得、サンサーンは十六歳の時その第一シムフォニーを作曲し、チャイコフスキーも十三歳で作曲を試みてゐる。シヨパンは十九歳前に既に有名な作曲を多数残してゐる。斯く著名な音楽家は殆どすべて幼少年時代から頭角を現はして居る。故に音楽は全く素質の問題であつて唯練習、訓練のみによつて大を成す事は出来ず優秀な素質と相俟つては

じめて完成するものである。

斯る天才は別として音楽的才能のある人々ない人を早い頃から識別しておく事は子供の持つてゐる素質を伸す爲に是れ必要な事である。此の爲に音楽才能検査が作られてある。スイーショアは此の方面の大家であつて音楽家として必要な基礎的諸性質を検査する方法を樹てゐる。例へば音の高さの辨別力では三振動以下の區別が出来れば音楽家となる事が出来ることし、三乃至八振動で區別出来るものは普通の音楽教育を受けてもよく、九乃至十七振動でなければ區別出来ないもの（普通の女の歌ふ音階で約半音の差）は特別な趣味がある者に限り普通の音楽教育を受けさせてもよい。併し之以上に鈍い者は音楽に關係させない方がよいこと云つてゐる。その他、音の強度の辨別力とか、時間知覺（一秒と一〇二秒との差等を區別する事）、協和音の感じ方、或はリズム感、旋律の記憶その他の點から同様な検査をする事となつて居る。此の爲には色々の機械が必要であるが、簡単に蓄音機のレコードに吹込んで販賣されてゐるから容易に實用に供する事は出来る。（邦文では高野瀏、音楽適能診断の理論と實際、参照）

# 雛祭と御馳走

山田 徳兵衛

一昨年のお節句「子供の時間」の放送を引受けた時……。

話題は勿論、雛祭の事であるが何かプランを考へるよう  
に御係の方から申渡されたので、色々考へた結果、小  
學校の女生徒さんを相手に雛壇の前で對話をしようと思  
つた。

いや對話さいふより、雛壇の上の飾料やら雛の由來なご  
について質疑應答するプランを立てた。

ところで、一體どんな事を聞いて貰つたらよいか、この  
問答が聴取者なるお子さん達の参考にならなければいけな  
いと思つて、ひみつ少女達の聴きたがる事をテストしてか  
ら筋書を作らうと思つて、まづ尋常五六年の少女達を五六  
人雛壇の前へ招いで、放送の事は話さずに「雛壇を眺めて  
なんでも聴きたい事をきいて下さい」と云つてみた。

全然、白紙の少女達は暫く顔を見合せて笑つて居たが、  
やがて口を切つたのが「あの菱餅はさうしてあんな形をし  
てゐるのですか」續いてもう一人は「なぜお雛様に蛤や榮螺  
を上げるのですか」さいふのであつた。

なほ續いて出た質問が豆煎まめいりの由來如何さいふのではない  
か！

自分は日頃の蘊蓄を傾けて「そもく雛人形は……」  
とかなんぞか大いに名答を下さんものミカんで居たミこ  
ろ、小さい女生徒達に完全に肩すかしを喰つたかたちで思  
はず苦笑して仕舞つた。

つまり少女達のインテレスト(?)はお人形やお道具よ  
り、まづ第一に供へ物即ち食へ物にあつたのである。

自分は聊か驚いて、今度はこちらから人形や御道具につ  
いて質問をしてみるミ、それに對し少女達は相當によく答

へが出来た。

無論委しい來歴は知らないが其の概念をよく擲んでゐる返事であつた。

自分は大いに頼母しく思つた。

で、これは學校の先生や家庭の人々から何時もなく佳い説明を聽かされてゐるんだな……ご感心し、安心し、そしてお雛様の普遍的なる威力を今更に感じ入つた。

◇ ◇ ◇

自分は放送の筋書に、此の少女達の本心であるところの菱餅や、豆煎の御馳走の質問も勿論盛りこんで、その處の答は「それは餅は餅屋といふ昔からの文句の通りですから委しくはお餅屋さんに聽いて下さい」ミお茶をにごして人形やお道具の説明を主として纏めたが。

しかし、あそこでこんな事を考へてみた。

まことに可笑しな話で又、當然の話であるが食べ物、こいふものは人間の誰もが最も關心を持つていふ事である。

これは餘りに當り前の話ではあるが此際一寸首をひねつてみてもよい事かと思つた。

或る先輩がこんな事を云つた事がある。

「年中行事で、特色の有るおいしい食べ物に附帶してゐるものは廢らないが、食べ物に楽しみの尠いものは兎角永續しがしない。五節句のそれ／＼を見てもそれが判る」。

これはほんの一面觀であらうが、たしかに一つの眞理だと思はれる。

幼時を憶ひ又は故郷を懐しみ、又はおいしくて忘れられぬ食べ物があつたなら、その行事はなかく忘れられるものでは無いだらう。

ところで三月の雛祭……これが少女達の爲めにまつた、くよい年中行事であり獎勵すべきものであるとしたら……まづそのお節句の意義や飾料の由來等について少女達がよく理解するよう（そして多分のインテレストを持つよう）説明する事が必要であると共に、その供へ物即ち食べ物の問題を考へてこれを大いに利用すべきでは無いかと思ふ。

◇ ◇ ◇

いつか乃木將軍の傳記を讀んだ時、將軍が那須に居られ

る頃の一節に「將軍は三月節句には豆煎を、五月節句には粽<sup>ちまき</sup>を必ず作らせて食べられ又近隣へ振舞<sup>ふま</sup>はれた」云書かれてあつた。

自分は此時ほんまうに將軍の心持を知つた様な氣がして非常な親しさを感じた。

豆煎や粽をほいばる將軍の風手を想像する時自分は將軍が其上になつかしくなつた。

將軍の几帳面なる一面を物語ると共に、將軍が幼時の味を忘れかねて楽しみに喰べられたのではあるまいか。

お節句だから云つて何も傳統的の食べ物ばかりに偏<sup>へん</sup>すべきでは無いが、

1、平素に作らぬ雛祭獨特のもの

2、云ひかへれば、季節的なもの

(永い間の冬籠りの氣分から初めて憧れの春に會ふ様なもの)

3、その郷土に傳はるもの、又は吾家傳來のもの

4、少女達の最もおいしいもの

(これは種類の新舊を論ぜずショートケーキでもチョコ

レットでも決して差支へなし)

こんな點を考へに入れて御馳走を精々ふんばつする事が、この佳き年中行事を、より旺んにし、より永遠性を有たせるものとなるのでは無いかを考へた。

それは千年の昔に源を發するわが雛祭が常に潑刺たる幼年を交渉を持つ爲め永遠に、時代に生きて行く可能性があること、丁度合致する事であらう。

「古くそして新しく」これが雛祭を行ふ上の心構へ第一課ではあるまいか。(終)

手のひらにかざつて見るや市の雛 一茶

襖開けて次も廣間や雛祭 和香女

はつ雛や老の後なる娘の子 左繻

# 幼児の放送

一月十四日の午前十時十分からのラジオの幼児の時間を御きゝ下さいましたか。

附属幼稚園の幼児たちの聲が始めて、マイクを通して皆さんの御耳に入つたわけで御座います。新年の學校放送の初放送に、何か幼児たちの遊び聲を入れたいと考へました。カルタのよみ聲や、双六あそびの様子なごも考へて見ましたがいろいろの都合で實現がむづかしい。「遊んでゐる聲をさうしても放送したい」、こいふこみから、歌あそびこいふこみにいたしました。幼児が面白く遊びつゞけられるものでない、興味がなくて氣のりがしない。遊びに調子づくミ聲の方はお留守になる。テレビジョンで姿があらはせるミ申分ないのでありますが、なごぶちをこぼしながらも無理にならない程度でいたしました。

リーダーに大岡さんをわづらはしました。

一、通りやんせ

一同 こゝはごこの細道ぢや

さりるの人 天神様の細道ぢや

一同 ちよこ通して下さいな

さりるの人 御用のないもの通せません

一同 この子の七つの御祝に、お札を納めに参ります

さりるの人 通りやんせ、通りやんせ、行きはよいく、

かへりはこわい、こわいながらも通るは悪い、

さあお通りなさい。

二、さくら さくら

さくら、さくら、彌生の空をば、見渡すかぎり、いざ

や、いざや、もろこもに。

F . O



三、花一もんめ

A、ふるさつをめぐって、花一もんめ

B、ふるさつをめぐって、花一もんめ

A、何子さんがごりたたい、花一もんめ

B、何子さんがごりたたい、花一もんめ

A、勝つてうれしい花一もんめ

B、負けてくやしい、花一もんめ

A、ふるさつをめぐって、花一もんめ

四、だるまさん

だるまさんくくならみつこしませう、笑ふこねかす

アップツブツ

五、泡吹立つた

あーぶく立つた、にえ立つた

煮えたか、さうだか、食べてみやう

あーぶくたつた、にえ立つた、

煮えたか、さうだか、食べてみやう

もう、にえた

隣りのおばさん 時計はいく時

鬼 夜中の三時

おばさんのお名前何云ふの

鬼 いゝなまへ

本當のお名前何て云ふの

鬼 柳の下の大かへる

いづれも、ふだんは五六回もつゞけて遊ぶものを時間の都合上、大抵二度つゞで次に移るのでありますから、かわり目が一寸自然になりません。

郊外の遠足なごこいふ、経験を幼児も先生ももつてゐないので、幼児は大よろこび、先生は心配ごいふ事になりました。暮の十九日にテストに午後三時半幼稚園を出しました。

十一人の幼児が二臺の自動車に分乗して出かけました、校門を出ない中から大はしやぎ、ふだん、あまり口敷をきかない人たちも、しやべりつゞけの様子で車内はかなへのわくやうな、さわぎ、スタヂオに入つても幼稚園の気分が

(以下六十四頁へ)

# 演出遊戯「おもちゃ箱」

村上露子

三月三日の雛祭りには、みんな集つて楽しい一ときを過します。お雛祭りにちなんで、こんな遊戯をいたしますのも面白う御座いませう。

おもちゃ箱から順々に色々のおもちゃが繰り出して來て、簡単な表現をいたします。最後にみんな揃つて一緒に楽しく歌を歌ふので御座います。準備としては、前々から子供たちに相談をいたしまして、銘々に好きなおもちゃを定め、それに必要な簡単な衣裳等を子供たちに作らせませう。それら自分の役割が定りますと、みんな喜んで一生懸命にその製作に忙しい日を過します。おもちゃは何でもよろしう御座いますが、御参考までに實際にいたして見ましたものゝ二三を申し上げて見ませう。そのものゝ感じが出る程度の簡單さで飾りを作つて見ました。

五人囃子……袴(ラシヤ紙で作つたもの)

笛、太鼓等を作つてもよし。

兵隊……兵隊帽子(ボール紙で作る)刀、肩章。

首振り人形……帽子(クレープペーパー)首飾り。

兎……耳のついた鉢巻。

力士……化粧まわし

行司……烏帽子、袴、軍配扇。

舌切雀……帽子(布で作つたもの)に目や嘴をつけたもの、翼。

の、翼。

お爺さん……頭巾、ちやんぐこ、杖。

電車……五人位乗れる様な屋根なし電車の箱(前後に紐をつけて肩から吊せる様にする。)

動作は全體に無邪氣な愉快な氣持を表はし、子供たちの自由表現を主として考へたもので御座います。曲も簡單なものを選びました。

おもちゃ箱

振付

五人囃子

1 : : : : 8

先づ一人がいばつて出て来て、中央に坐る。

9 : : : : 16

両手で盃を持ち甘酒をおいしさうに呑む様子をす  
る。

繰り返し曲 9 : : : : 16

退場。(最後にみんなで歌を歌ふので、正面の後方に列んで休みながら、後から出て来る色々のおも  
ちやの動作を見てゐる。)

1 : : : : 8

二番目の囃子が出て来る。中央に坐る。

9 : : : : 16

笛を吹く。

繰り返し 9 : : : : 16

退場。

以上の様にして、三番、四番、五番と順々に中央

に出て来ては、九節から十六節の間に太鼓をたゞいた  
り、鼓をうつたり等して退場。

### 首振り人形

1 : : : : 8

二人でも三人でも仲よく手を連ぎ、スキップで大きく  
圓形を描きながら中央に出て来て、七節目に止り、膝  
をついて両手を前にそろへてきちんこ坐る。

9 : : : : 16

好きな様に首を振つたり廻したりする。

繰り返し曲

スキップで退場。

### 兵隊

五人位を一隊として、勇しく動作をする。

1 : : : : 6

足を高く上げて元氣よく行進。中央まで来れば足ぶ

み。

7 : : : : 8

止つて正面を向く。

9 : : : : 12

二度敬禮をする。

13 : : : : 16

刀をぬいて高く右上に振り指揮する。

繰り返し曲

指揮刀をふりながら左手で馬のたづなを持ちスキップ

にて退場。

### 兎

1 : : : : 8

両手を前に縮めてピョン／＼跳びながら正面に出る。

9 : : : : 16

二人宛組になつて、一人は蹠んで両手で大きな臼をつ  
くる。もう一人は杵を持ち、三拍子の初めの音にアッ

セントをつけてお餅をつく。

繰り返し曲

ピョーン／＼はねながら退場。

繰り返し曲

悠々退場。

### 力士

1 …… 8

先づ両力士が東西から現れる。行司も軍配扇を持つて一緒に中央に出て来る。曲の三拍子を一步に數へて、両手を膝におき四股を踏みながらぎしん／＼と出て中央で出會ふ。

9 ……

両手を下してにらみ合ふ。行司は軍配を持つてかまへる。

10 ……

行司が軍配を引くと同時に力士は立ち上り組合ふ。

11 …… 16

組合つたまゝ二人は片足で一節に三つ宛ト／＼／＼とさび、一節如に足をかへて體を踏み切つた足の方に傾けながら、自分の廻りを一廻りする。行司は「ノコッタ／＼」と云ひながら軍配を持つて審判する。

### 電車

1 …… 6

馳け足で出て来る。

7 …… 8

止る。

9 …… 14

馳け足で好きな所に行く。

15 …… 16

止る。

繰り返し曲

馳け足で退場。

### 舌切雀とお爺さん

1 …… 8

雀たちは両手をひろげて羽ばたきをしながらスキップ

で飛んで行く。

9……16

お爺さんは腰をかかめて杖をつきながら雀の所まで行く。

雀は踊んでお爺さんをさしまねく。

繰り返し曲、

雀はお爺さんの中に挟んでお互ひに肩をくみながら、お話をする様に左右さちらからでもよいから首を傾し

げて領き合ふ。

これで全部のおもちやが繰り出しましたので、もう一曲  
弾く間に、雀とお爺さんは皆の所に行き、みんなは少し  
前に出て来て列びます。そこで

ヤットコヤットコ クリダシタ

オモチャノマーチが ラッタッタ……

ミ「オモチャノマーチ」の唱歌を歌つておしまひにします。

## 保育實習科生徒募集

(官報抜萃)

本年四月入學セシムベキ保育實習科生徒ヲ募集ス。其要項左ノ如シ。

東京女子高等師範學校

一、募 集 人

凡ソ二十四名

二、學 費

學費ハ總ベテ自費トシ授業料年額金五拾五圓ヲ徴收ス。

三、選抜試験及身體検査

選抜試験ハ二次ニ分チ之ヲ施行ス、第一次ハ全志願者ニ對シ之ヲ行ヒ、第二次ハ第一  
一次ニ合格シタル者ニ對シ之ヲ行フ。

第一次試験

國語(解釋・作文) 理科(動物) 圖畫(自在畫)

第二次試験

音樂(唱歌) 身體検査並ニ口頭試験

四、出 願 期 間

二月八日ヨリ三月九日マデ

五、試験及検査場所

三月十六日同十七日ノ二日間  
東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校

六、出願受付試験及検査場所

右ノ外、生徒募集ニ關スル詳細ハ之ヲ記載セル印刷物ニツキ承知スベシ、此印刷物ハ直接本校ニ就キ受領スルカ、  
又ハ貳錢切手ヲ貼附セル封筒ヲ添へ、本校ニ對シ郵便ヲ以テ之ヲ請求スベシ。

# おひな様

及川ふみ

今年のおひな様は、臺とおひな様を一枚の紙につけてつくる事に、工夫をいたしました。

別圖第二圖の様に謄寫いたしましたものを臺の前方、左右の三面を赤、黄、緑の三色にぬります、おひな様は、親王、内裏には圓の部分があるのでありますから、それくの装束には幼児に各自、模様をかゝせたり、或は千代紙なごをはらせてもよいのであります。

裾の折りかへしには、親王様の方は水色、黄色の二色位、ぬり、内裏様の方は、桃色、赤なごの二色をぬります。色紙を三角形に桃色や赤を切つてはり付けてもよいのであります。

色ぬりや、模様のはりつけが出来ましたならば、實線のところを切り、圓の斜線のところは切りおこします。點線のところは折り、裾のおりかしの三角三角が、第一圖

の様につき合せにして下より一センチ位はなれたところを糸で縫ひつけます。この時この糸は臺にも通して左右を合せると同時に臺にもつけるわけであります。

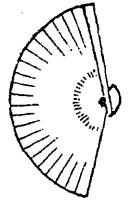
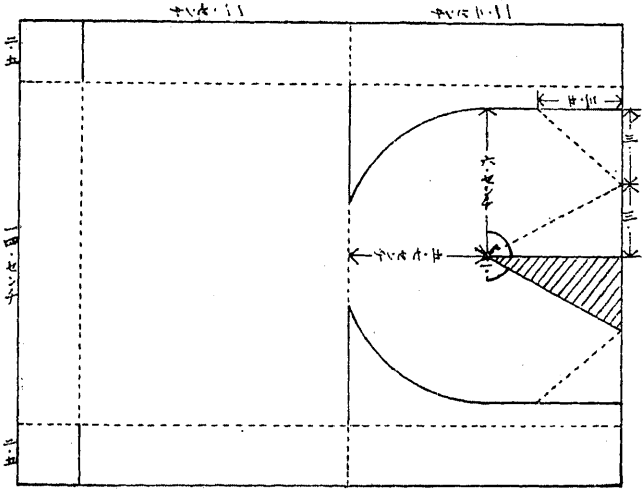
次に第三圖の様に謄寫したもので、三官女、五人嬭をいたします。

三官女は、圓の半分(中心より)は黄色、あご半分は赤にぬるか、或は色紙ではり分けるかいたします。

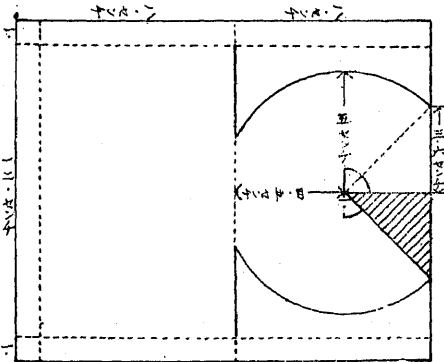
五人嬭は、圓の半分を、緑にし、あご半分は黄色に染め分けたり、色紙ではり分けます。

裾は内裏様の様な、おりかへしはありませんから、斜線の部分を切りおこして點線のところまで重ねて糸で縫ひつけます。

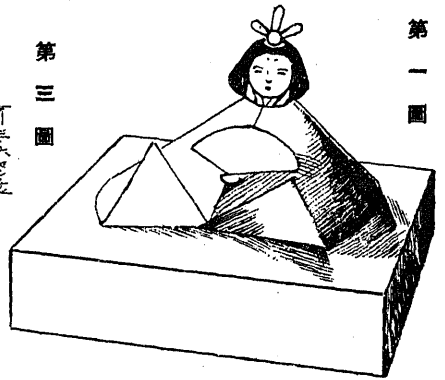
顔はいづれも、既成のお雛様なごお部屋に飾つておいて、それを参考に幼児各兒にかゝせるこよいのであります。



第二圖



第三圖



第一圖

衣用



す。圓心から一センチ位はなれた場所へ、はりつけたり、さしこんだりいたします。

これを一々の幼児につくらせるのもなか／＼容易ではありませんから、各幼児には、内裏、親王をつくらせ、その他のものは數人で一組のお雛様セットを作るこいふ風にいたします。

顔なき御参考までに書いておきましたわけであります。内裏は畫用紙八ッ切で一つ、三官女、五人囃は十六切で一つ出来るわけであります。

上野謙二氏著「新幼児ばなし三百六十五日」の冬の巻が発行されました。誌上紹介いたします。既刊の春の巻三つ書いて上梓されます。夏・秋の巻三四巻の一部で、書名にあります通り一日一日に行届いた配當がされてますお話はずる分各方面に廣く材料がさられてあり、「國民生活の淵源、代表、記念を幼児に生かすこゝに努め」られてあります。

(厚生關)

(五十六頁よりつゞく)

一寸もかはらない、無事に各幼児を家庭へ送りこゞけてやつみの事でくつろいだ時、あゝ今一度こんな氣のもめる時があるのか心安心したやうな、心配なやうな氣持で床につきました。その夜しばらく振りに夢を見ました。事柄はよくわからないのですが、朝髪を結ぶ鏡に眞白な自分の髪がうつつて驚いてゐるまゝころでした。歌ふこゝよりもその送迎にほんまに氣骨のおれる事おびたゞしい。

十四日の放送當日は、幼稚園からいつて幼稚園へかへるので、はじめほごのさわぎはありませんでした。銘々にラヂオせんべいを一箱づゝいたゞいてさもうれしそゝに歸りました。

みな様の幼稚園のこども達はみんな元氣でせうか。

今年は例年よりも寒さがはげしいといふことで、風邪、シフテリア、猩紅熱、水痘など大變流行つてをります由、マスクはもとよりうがひや手を洗ふことをまめにさせたいものです。

# 全國保育大會狀況

——昭和十年十一月一日・二日於臺北——

本誌三十五卷十二月號に會の要項及大會に於ける研究發表の一部を掲載したのでありますが、その後大會狀況を詳しくお書き送り下さいましたので並に發表致します。(編輯者)

## 大會狀況

領臺四十年に於ける統治の實績を展示すべき施政四十年記念臺灣博覽會の開催を好機とし將來に於ける保育事業の發展を期すべく、臺北市保育會主催の下に全國保育大會を臺北市臺北女子高等學院を大會場とし、菊薫る十一月一日二日の兩日に互り開催せらる。野口臺北州知事、文教局

各視學官、州市教育課長、視學市内各中等小學校長、愛國婦人會正副部長等の來賓を始め、内地側會員久留島武彦氏外十名、島内會員百餘名出席定刻、全國保育大會長平塚茂子氏勅語を捧讀し主催者を代表して挨拶を述べ、次で野口知事、松岡市尹、松木協賛會長(代讀)の祝詞あり、日本幼稚園協會、後藤治子(後藤内相夫人)氏外數氏の祝電披露十一年以上勤續者羽田タキ外十八名へ表彰狀、記念品の贈呈あ

り、之に對し八十餘歳の最高齡者保姆櫻川以智氏の謝辭あり開會式を終り一旦休憩、午前十時再開、臺北市保育會副會長柏熊福太郎氏を議長に推薦一日二日に互り議事を續行、熱心討論の上文教局諮問案に對する答申案及建議案を可決決定、其の他講演及研究事項の發表等あり、極めて盛會に終始した。

## 議事

(一) 臺灣總督府文教局諮問案

「本島に於ける幼稚園教育の實情に鑑み改善を要すに認めらるゝ事項如何」

右に對し井上視學官(文教局)は「全國保育大會に對し此の諮問案は適當でないかも知れないが内地の御方に對しては臺灣に於ける保育の實情を御覽下さるご云ふ意味に

於て、特に本島に於ける幼稚園教育の如何云ふ點に改良

が要るか云ふことに就いて實際幼稚園教育にたづさはりらるる皆様の氣持ちが聞きたいのであるから、あらゆる方面から意見を聞かせて戴きたい」と説明があり、

之に對し佐藤徳治氏(宜蘭幼稚園長)は

一、公立幼稚園の設立、臺灣の幼稚園は公立が少なく自然保育事業は非常に進歩が遅く、之について本島人の幼稚園教育に一層留意し發展を計りたい、その爲には少くとも市に三、街庄に一の公立幼稚園の必要がある。

二、保姆養成機關の設置本島には保姆養成機關の設置が無いのは大きな缺點で之は保姆の向上を計る様に是非必要と思ふ、優秀なる保姆を全島に配置して本島人の幼兒に日本精神を根本的に吹き込むことが肝要である。述べ早川節氏(臺北幼稚園)は

内臺兒混合保育の苦心本島人園兒と共學制度の關係を悉説し本島幼稚園に於て本島人園兒に對して國語を習熟せしむる傍ら國民精神の涵養を計らねばならない等の點を力説し是等の點より見て公立幼稚園の設置保姆養成機

關の創置が必要であるを結び委員附託をなつた。

(二) 建議案

一 幼稚園令を施行せられたきこと

臺北市保育會提出

熊井才吉氏(臺北幼稚園主事)提案理由を説明本島に於ては、明治三十八年總督府令第十六號を以て、幼稚園に關する規程を發布せられ、其後大正十年五月二十九日、臺灣公立幼稚園規則を施行せられたるも私立幼稚園の設立は、今尙公立學校令の中に、含まれてゐるとして、幼稚園規則の沿革を悉説し、今後島民向學心の發達に伴ひ、漸次入園希望者増加の趨勢に向ひつゝある今日、幼稚園の改善進歩の必要を論じ此の際幼稚園令を施行せられて、幼稚園の指導獎勵乃至監督の完璧を期せられたし。こ。

動議により議長委員七名を指名して、委員附託をなつた。

二 保育者の向上の途を講ぜられたきこと

臺北市保育會提出

佐竹齋吉氏(愛育幼稚園長)提出理由の説明先づ保育者の

高尚なる人格の必要を高唱して保姆養成機關、教養施設の完備乃至檢定試驗制度の設置を力説する處あり、之亦七名の委員附託になつた。

### (三) 談話題

#### 一、内地會員より

遙に内地より本大會へ列席せられたる内地會員を代表して、大阪市御津幼稚園長大道てる氏一同拍手の中に立つて常夏の島に初渡臺の感想を述べて曰く、百聞一見に如かず、實に豫想以上の樂土に來りて、見る物聞くもの皆珍らしく、美ばしく、驚異を賞讚し満足のみである。と。御禮として大阪市に於ける幼稚園保育の實情及特殊施設の現状並研究機關たるべき保育會の研究活動の内容等に就いて、短時間に而も詳細に雄辯に語られた。一同興味深く且有意義に拜聽した。

#### 講演

#### 一、幼兒教育の效果

臺北帝大助教授 力丸 慈 圓氏

#### 二、幼兒の言語機能とお話の本質

東京第一二早蕨幼稚園長 久留島 武彦氏  
午後四時半閉會す

午後六時半より臺北市日新町蓬萊閣に於て保育會主催にて招待會を開く

はじめに平塚會長のいさみやかな御挨拶あり

門司幼稚園長松村茂氏のユーモアあふるゝ謝辭あり。

時恰も熱田神宮の遷座祭に當り定刻一同起立して東方に向ひて遙拜す。

つゞいて運ばるゝ南國料理に舌鼓うち主客歡談つきず、午後九時半散會す。

#### 第二日

一 文教局諮問案に對し委員審議を重ねたる結果、答申案を作製し委員長竹下等氏、答申、満場一致可決す。

二 臺北市保育會提出の建議案二つ委員に於て審議の結果を委員長熊井才吉氏より報告、原案通り満場一致可決せり。

#### 三 談話題

幼稚園に對する所感

私立城南幼稚園長 戸田清市氏

お日様ご椰子

私立文化錦幼稚園

佛桑花

私立臺北幼稚園

祭の行列

私立錦幼稚園

あひる

私立臺北幼稚園

椰子の兵隊さん

私立文化幼稚園

四 研究發表

(一) 觀察を主としたる保育案

門司幼稚園長 松村茂氏

ニ、本島幼児保育について

私立愛育幼稚園保姆 佐竹花氏

ホ、内臺幼兒の身體發育調査について

私立大正幼稚園保姆 翁長靜枝氏

ハ、地方的保育資料としての手技について

私立鯉舳幼稚園保姆 池部アサ氏

熊井副會長の閉會の辭ありて名残りをミヨメ三々五々散會せり。

會せり。

尙午後一時より警察會館に於て市招待會開かれ内地及島

内地方會員並臺北市保育會幹部列席す。

はじめ、松岡市尹の御懇ろなる御挨拶あり門司松村園長

禮を述べられ一同打寛いで午餐を頂いた。

此の時、平塚總務長官閣下臨席せられた。臺灣始政四十年記念臺灣大博覽會開催の趣意を述べられ此の機に當り全國保育大會の開催せられたるは實に御同慶に堪へぬ、善良なる第二國民を保育する重大なる責務を、よく一致協力して努力實行せられよと諄々と訓示せられた。

(二) 臺北市保育會研究事項

イ、内臺幼兒保育について

私立樹心幼稚園保姆 川西久子氏

時間の都合により豫定變更して

ロ、地方的保育資料としての童謡について

私立文化幼稚園保姆 山口つる氏

ハ、童謡遊戯發表(園兒)

本年度保育實習科卒業者

東京女子高等師範學校保育實習科は本年三月左の二十四名の新卒業者を保育界に送り出さうとしてゐます。皆それ／＼適當な働き場所を得て斯界の爲熱心にその職に従事し度い希望にもえてゐます。御採用を願ひます。

氏名	出身學校	生年月日	氏名	出身學校	生年月日
石井嘉代子	東京府立第三高女	大正六年十月二十七日	嶋澤 良	青山學院高等女學部	大正六年五月四日
石垣 きお	東京女高師附屬高女	大正六年七月四日	白井 雅子	東京牛込高女	大正八年一月二十五日
小倉 和子	東京雙葉高女	大正六年十二月二十五日	瀬下三智子	東京女高師附屬高女	大正六年七月十六日
勝田四方子	東京府立第五高女	大正六年一月五日	田口 信子	東京府立第一高女	大正六年七月十三日
桂原 幸子	同 第三	大正六年十月二十七日	田中 實枝	青山學院高等女學部	大正六年五月八日
木藤富士子	同 同	大正六年七月三十日	辻 由	滋賀縣立彦根高女	大正六年六月十七日
北村百合子	同 第六	大正六年十一月五日	富永 文代	東京府立高等家政	大正七年九月十六日
小島 睦美	淀橋精華高女	大正七年一月二日	西山 和子	石川縣立金澤第一高女	大正六年四月二十六日
佐久間フミ	府立第一高女	大正六年十一月十四日	村岡 禎子	東京東洋高女	大正五年五月十二日
佐藤 久子	福岡縣立喜多方高女	大正七年七月十八日	山崎喜代子	東京三輪田高女	大正七年一月九日
坂田美英子	釜山公立高女	大正六年十月十五日	吉澤 光子	長野縣立須坂高女	大正六年十月十四日
酒井 信子	東京東洋高女	大正七年一月十八日			

# 日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽 一

主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣 三

## 日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ  
一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査  
一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

### 會ノ開催

- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 會務ヲ總理ス  
主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス

幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス

評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

### 價定

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁	二等面一頁
半年分	金貳圓拾錢	金貳拾圓	金拾圓
一年分	金四圓拾錢	金拾圓	金拾圓
拾貳冊送	金四圓拾錢	金拾圓	金拾圓
拾貳冊送	金四圓拾錢	金拾圓	金拾圓

（外國行郵税ハ一部金拾貳錢ノ割にて御拂込下さい）

昭和十一年二月十三日印刷納本  
昭和十一年二月十五日發行

幼兒の教育 第三十六卷 第一一號

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內  
編輯者 倉橋 惣 三  
發行所 柴山 則 常  
印刷者 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地

### 不許複製 禁止轉載

### 發行所

東京市小石川區大塚町三十五  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內  
日本幼稚園協會  
振替口座東京一七二六六番

### 注 文 規 定

- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
- 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

# 著名園稚幼の書圖洋東

好評七版

東京女高師教授  
附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生著

四六判美本  
口繪多數入

價二圓五十錢  
送料十六錢

幼稚園

保育法と眞諦

▲著者は我國保育界の耆宿、本書は現代に於ける最も完備し且る統ある保育原論幼稚園保育法なる新保育法の実績を豊富に多量に採録せる最良の参考書。

版三

東京女高師教授  
倉橋惣三先生  
新庄よしこ先生  
共著

日幼稚園史

菊判三六頁  
價三、八〇  
送〇、一八

苦心二十年の結晶完成、日本幼稚園史として比類なし。歴代皇太后陛下行啓の榮を得し我國幼稚園本山の大記念塔である。

版七十

奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

幼稚園の理論及實際

菊判三六頁  
價三、〇〇  
送〇、一八

保母檢定唯一の最良参考書。幼稚園書の王。内外の實際古今の理想悉く一卷に收められ遺憾とするところなし。

版六

奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

幼稚園の經營

菊判三六頁  
價二、八〇  
送〇、一六

狭げ方要目・保育要目・標準施設・時間配當・託兒所經營の重要問題を解決明示し、更に經營概論、保育諸問題等々懇説す。

版三

東京女高師教授  
附屬小學校主事  
堀七藏先生著

幼稚園保育の諸問題

菊判三六頁  
價二、八〇  
送〇、一六

幼稚園經營並に保育實際に關する理論實際、小學校との連絡問題に付懇説さる。理論的根據に立ち保育實際に理論付ける名著。

版八

奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

保母教育學

菊判三六頁  
價二、八〇  
送〇、一六

保母檢定試験規則による教育・兒童心理・教授法・管理法の大意を網羅せる保母必須書。各府縣檢定指定の最良参考書。

版六

奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

幼稚園教育兒法

菊判三五頁  
價二、〇〇  
送〇、一二

育兒法は保母資格試験の必須科目で、本書は其の唯一参考書、保母養成所教科書。附録に健康保險法種痘法揚揚載し懇説の良書。

東大 京阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區神保町一丁目 大阪市南區安堂寺一丁目  
東京市神田區神保町一丁目 大阪市南區安堂寺一丁目



# 園名入保育證書御用命は二月末日迄

以後は貴需に  
應じかねます

◇保育證書—堅緻な厚手の上質紙に、文字を墨、周圍輪廓は壯麗な金刷ぎ、典雅な圖案による色刷ぎの二種があります。夫々姓名年月日だけ書き入れます。

一〇〇枚 園名入 金 四 圓  
 五〇枚 園名入 金二圓五十錢  
 無名 一枚 金 五 錢

- ◇出席簿用紙—一〇〇枚 金 一 圓
- ◇在籍簿用紙—一〇〇枚 金 八 十 錢
- ◇月謝 袋—一〇〇枚 金一圓四十錢
- ◇豫定案日誌—一冊(一年分) 金一圓廿錢
- ◇出席カード—(十二枚一組) 金 十 錢

## 卒業園兒の寄附による記念品は

御園のため永久的に生命ある弊社製品の御選擇が最も有意義、さてその好評の品々

- ◇波 動 廻 轉 塔 八〇圓
- ◇子供の家(社會遊び) 八七圓
- ◇スモール・セット 三二圓
- ◇人形芝居一揃 四五圓
- ◇大型二十人乗シーソー 七〇圓
- ◇梓のぼり 一一五圓
- ◇コンピネーション運動具 八五圓
- ◇樂隊遊び用樂器一揃 一八圓
- ◇太鼓 梯子 四〇圓
- ◇鐵製二人乗ぶらんこ 五三圓
- ◇大型鐵製滑臺 七五圓
- ◇箱積 木 一八〇圓

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
 (毎月一回 十五日發行)  
 昭和十一年二月十三日印刷納本  
 昭和十一年二月十五日發行

定價三十五錢

### 館ルベールフ 社會式株

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東 店 本  
 番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大 所張出